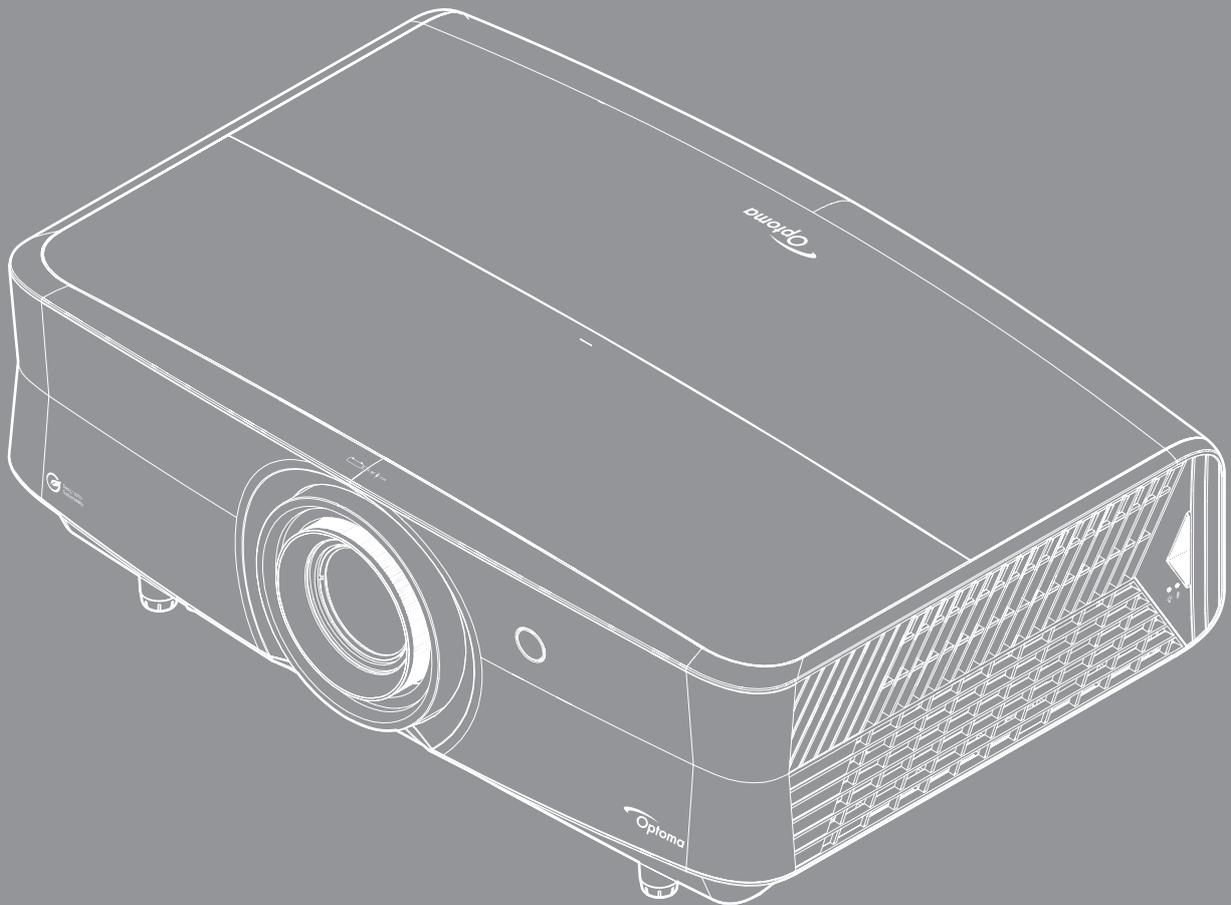




DLP® プロジェクター



ユーザーマニュアル



目次

安全	4
安全に関するご注意.....	4
電池の安全に関する注意事項.....	6
レンズの清掃.....	6
レーザー放射安全情報.....	7
著作権.....	7
免責条項.....	7
商標認識.....	8
FCC.....	8
EU 諸国への適合宣言.....	9
WEEE.....	9
CTUVUS.....	9
仕様および警告ラベル.....	9
はじめに	10
パッケージの内容.....	10
標準アクセサリ.....	10
製品の各部名称.....	11
接続.....	12
キーパッド.....	13
リモコン.....	14
設定と設置	16
プロジェクターを設置する.....	16
ソースをプロジェクターに接続する.....	18
投影画像の調整.....	19
リモート設定.....	21
プロジェクターを使用する	24
プロジェクターの電源を入れる/切る.....	24
入力ソースを選択する.....	27
ランチャー画面の概要.....	28
メニューナビゲーションと機能.....	29
OSD メニューツリー.....	30
イメージメニュー.....	37
ディスプレイメニュー.....	42
設定メニュー.....	45
オーディオメニュー.....	49
コントロールメニュー.....	50
情報メニュー.....	63
システム設定.....	64
入力ソースを手動で選択する.....	70
アプリの選択.....	70

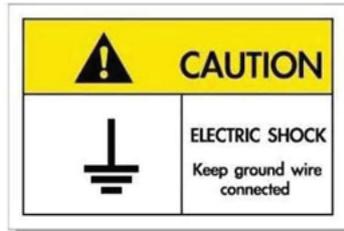
追加情報 73

対応解像度.....	73
プロジェクターの寸法と天井取り付け.....	77
IR リモートコード.....	78
トラブルシューティング.....	81
警告インジケータ	83
仕様.....	87
Optoma 社グローバルオフィス.....	88

安全

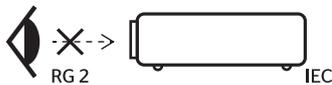
	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス（修理点検など）に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。



- 感電を防止するため、装置およびその周辺装置を適切に接地（アース）してください。
- この装置には、3ピン接地タイプの電源プラグが装備されています。
- 電源プラグの接地ピンを取り外さないでください。
- これは安全機能です。プラグをコンセントに差し込めない場合は、電気技師にお問い合わせください。
- 接地プラグの目的を無効にしないでください。

安全に関するご注意



- あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- このプロジェクターは、IEC/EN 60825-1:2014 およびリスクグループ 2 のクラス 1 レーザー製品であり、IEC 62471-5:2015 の要件を備えています。
- お子様の監視: 凝視しないこと、光学補助具を使用しないこと!
- お子様を監視し、プロジェクターから離れた場所でプロジェクターの光線を凝視しないように注意してください。
- 投影レンズの前でリモコンを使用してプロジェクターを起動する場合は注意してください。
- ビーム内で双眼鏡や望遠鏡などの光学器具を使用しないようにユーザーに通知してください。
- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒータブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。

- 以下のような環境下では使用しないでください。
 - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
 - (i) 室温が 0°C ~ 40°C の範囲に保たれていることを確認します
 - (ii) 相対湿度は最大 80% です
 - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
 - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
 - 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです (ただしこれらに限定されません):
 - 装置を落とした。
 - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
 - プロジェクターに液体をこぼした。
 - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
 - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がある。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本プロジェクターの修理は、認定されたサービススタッフのみに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 本プロジェクターは、光源の寿命を自動的に検知します。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
- 保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 間違ったタイプの電池に交換すると火災や爆発の危険性があります。
- 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- 電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。

電池の安全に関する注意事項

⚠ WARNING	
<ul style="list-style-type: none">• INGESTION HAZARD: This product contains a button cell or coin battery.• DEATH or serious injury can occur if ingested.• A swallowed button cell or coin battery can cause Internal Chemical Burns in as little as 2 hours.• KEEP new and used batteries OUT OF REACH of CHILDREN• Seek immediate medical attention if a battery is suspected to be swallowed or inserted inside any part of the body.	

レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- 埃を取り除くために、圧縮空気タンクを使用してください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。

注意! 表面が熱いので触れないでください



- プロジェクターの動作中は、プロジェクターのレンズの前に手、顔、その他の物を置かないでください。そうすると、対象物が極度に熱くなり、光出力から放出される熱によって火災や損傷が発生する可能性があります。レンズの前に置かれたものが過熱して燃えたり、火災の原因となる可能性があります。
- レンズに溜まったほこりや汚れを取り除くために可燃性ガスを噴霧しないでください。火災の原因となる可能性があります。



警告: レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクター内部の過度の熱より、火災が発生する可能性があります。



警告: レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。



警告: 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。

レーザーに関する通知

IEC 60825-1:2014/EN 60825-1+A11/EN50689:2021 クラス 1 民生用レーザー製品、IEC 62471-5:2015 リスクグループ 2。

この製品は民生用レーザー製品としての使用を目的としており、EN 50689:2021 に準拠しています。

クラス 1 民生用レーザー製品

EN 50689:2021

レーザー放射安全情報

- IEC 62471-5:Ed.1.0 で定義されているリスクグループ 2 LIP としての適合性を除き、21 CFR 1040.10 および 1040.11 に準拠しています。詳細については、2019 年 5 月 8 日付のレーザー通知第 57 号を参照してください。
- IEC 60825-1:2014/EN 60825-1+A11/EN50689:2021 クラス 1 民生用レーザー製品、IEC 62471-5:2015 リスクグループ 2

IEC 60825-1:2014, EN 60825-1:2014+A11:2021, EN 50689:2021 CLASS 1 CONSUMER LASER PRODUCT RISK GROUP 2, Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040.11 except for conformance as a Risk Group 2 LIP as defined in IEC 62471-5:Ed.1.0. For more information see Laser Notice No. 57, dated May 8, 2019.
IEC 60825-1:2014 等級1雷射產品RG2危險等級
IEC 60825-1:2014 1類激光產品RG2危險等級

WARNING: MOUNT ABOVE THE HEADS OF CHILDREN!
Do not look into the beam less than 1m.
No direct eye exposure to the beam is permitted.
“AVERTISSEMENT:INSTALLER AU-DESSUS DE LA TETE DES ENFANTS.”
Avertissement supplémentaire contre l'exposition oculaire pour des expositions à une distance de moins de 1m.
「警告：安裝高於兒童頭頂！」
請勿在距離小於1米的範圍內直視光束・嚴禁眼睛直接暴露於光束中。
「警告：安裝高于兒童頭頂！」
請勿在距離小于1米的範圍內直視光束・嚴禁眼睛直接暴露于光束中。



- お子様を監視するための追加の指示、凝視しないこと、光学補助具を使用しないこと。
- お子様の手の届かないところに設置するように指示してください。
- 警告: お子様の目線より上に設置してください。お子様の目線の上に設置する場合、この製品と共に天井マウントを使用することをお勧めします。
- 注意 – ここで指定されているもの以外の制御や調整を使用したり、手順を実行すると、危険な放射線被ばくが生じる可能性があります。
- プロジェクターの電源を入れるときは、レンズを見れる投影範囲に人がいないことを確認してください。
- プロジェクターの光路に物 (拡大鏡など) を近づけないようにしてください。レンズから投射される光路は広範囲にわたります。したがって、レンズからの光の向きを変えるあらゆる種類の異物が、火災または目の傷害などの予期せぬ結果を引き起こす可能性があります。
- ユーザーガイドに具体的に記載されていない操作または調整は、危険なレーザー放射曝露を引き起こす可能性があります。
- レーザー放射曝露による存在を引き起こす可能性がありますので、プロジェクターを開いたり、分解したりしないでください。
- プロジェクターがオンの間、光線を凝視しないでください。明るい光により、目が恒久的に損傷する可能性があります。

制御、調整、操作手順を遵守しないと、レーザー放射曝露により、損害が発生する可能性があります。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2024

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にはないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

Dolby、Dolby Vision、ダブル D 記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。Dolby Laboratories Licensing Corporation からのライセンスに基づいて製造されています。未発表の機密資料。Copyright © 2013–2024 Dolby Laboratories. All rights reserved.

この製品は、HDR10+ プロジェクター デバイス バージョン 1.1 に準拠しています。HDR10+™ ロゴは、米国およびその他の国における HDR10+ Technologies, LLC の商標または登録商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されています。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください：

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします：

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

本クラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EU (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EU
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

WEEE



廃棄物についての指示

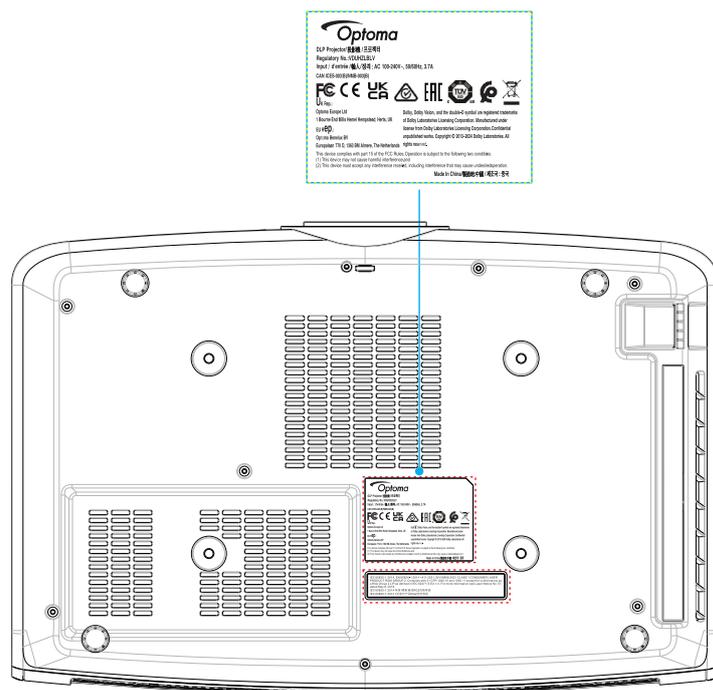
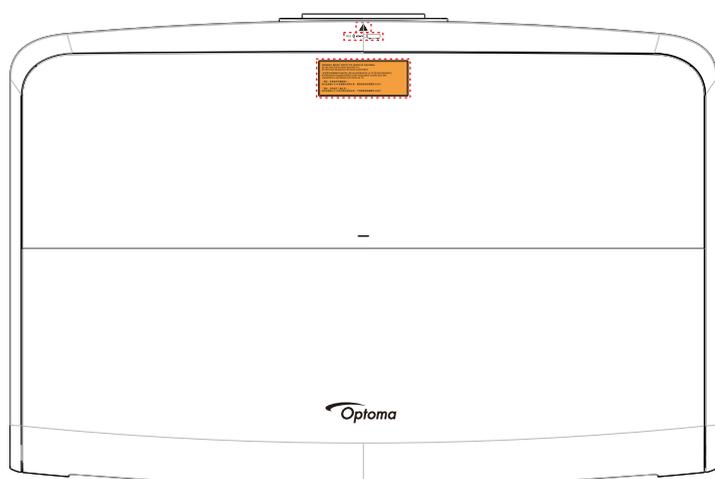
当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルしてください。

CTUVUS



仕様および警告ラベル

仕様および警告ラベルは次の場所に貼付されています:



注: 電源、電力定格、製品情報については、製品底面のラベルを参照してください。

はじめに

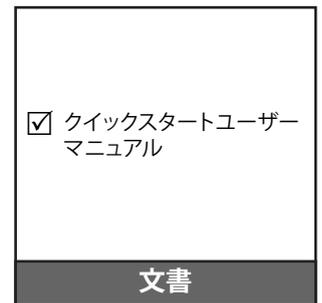
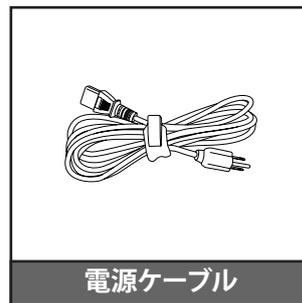
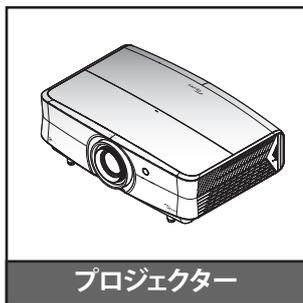
Optoma レーザープロジェクターをお買い上げいただきありがとうございます。機能の完全なリストについては、当社の Web サイトの製品ページにアクセスしてください。ここでは、FAQ の追加情報やドキュメントも掲載されています。

パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、下記に記載されている標準付属品がすべて揃っていることを確認してください。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

標準アクセサリ



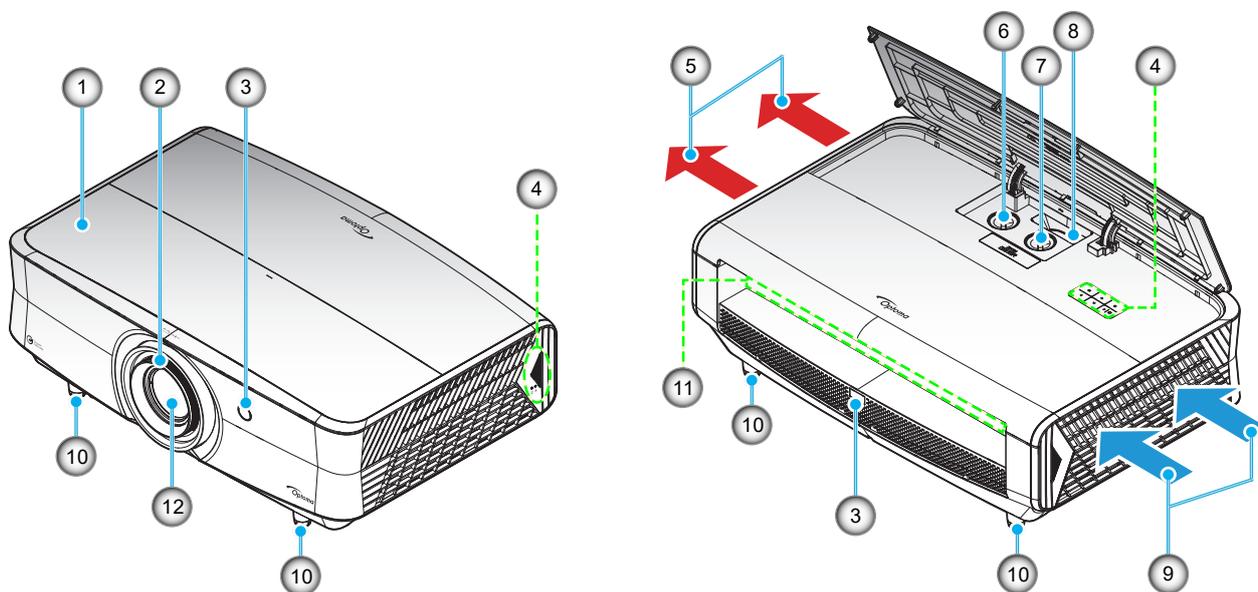
注:

- 設定情報、ユーザーマニュアル、保証情報、製品の更新にアクセスするには、QR コードをスキャンするか、次の URL にアクセスしてください。
<https://www.optoma.com/support/download>
- 付属品は国によって異なる場合があります。
- Wi-Fi ドングルはオプションのアクセサリです。



はじめに

製品の各部名称



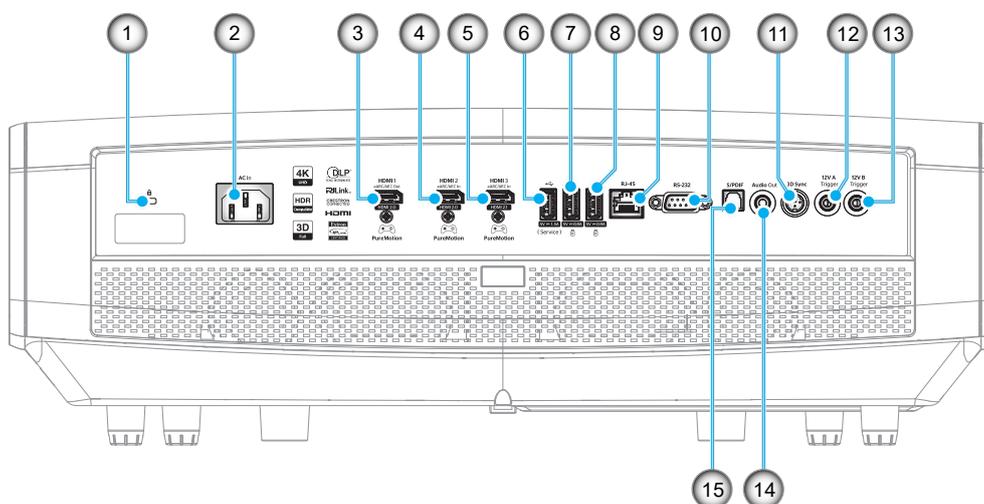
注:

- プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。
- プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 30 cm 隙間をあけてください。

番号	項目	番号	項目
1.	上部カバー	7.	レンズシフトダイヤル (垂直)
2.	フォーカスリング	8.	ズームレバー
3.	IR レシーバー	9.	換気 (吸気口)
4.	キーパッド	10.	チルト調整フット
5.	換気 (排気口)	11.	入/出力
6.	レンズシフトダイヤル (水平)	12.	レンズ

はじめに

接続



番号	項目	番号	項目
1.	Kensington™ ロック ポート	9.	RJ-45 コネクタ (*4)
2.	電源ソケット	10.	RS232 端子
3.	HDMI 1 (v2.0) コネクタ	11.	3D同期コネクタ
4.	HDMI 2 (v2.0) コネクタ	12.	12V 出力端子
5.	HDMI 3 (v2.1) コネクタ (*1)	13.	12V 出力端子
6.	サービスおよび USB 給電出力 (5V/1.5A) コネクタ (*2)	14.	オーディオ出力端子
7.	USB 電源出力 (5V/0.9A) (*3)	15.	S/PDIF 端子
8.	USB 電源出力 (5V/0.9A) (*3)		

注: (*1) 最大 3840 x 2160/120Hz をサポートし、HDR10+ をサポートします。

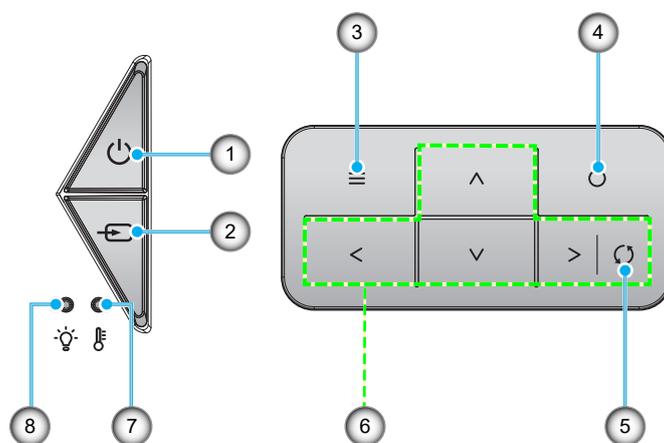
(*2) ファームウェアアップグレード用。

(*3) マルチメディアおよび Wi-Fi ドングルをサポートします。

(*4) LAN 制御、IoT 制御、FOTA (FW アップグレード) をサポートします。

はじめに

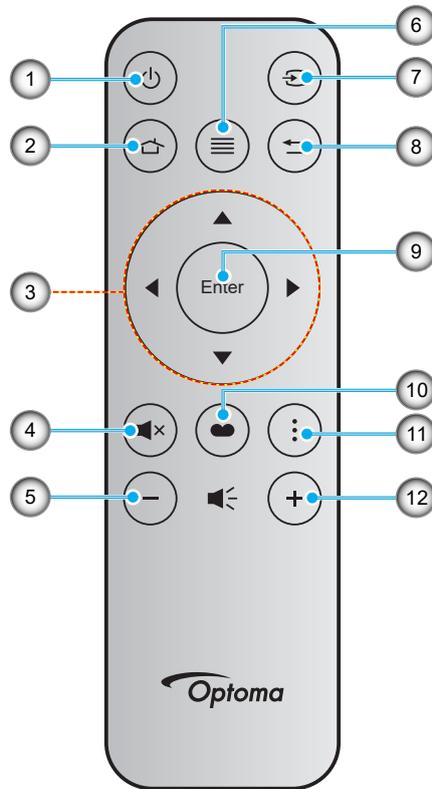
キーパッド



番号	項目	番号	項目
1.	電源およびオンスタバイ LED	5.	再同期
2.	ソース	6.	4 方向選択キー
3.	メニュー	7.	温度 LED
4.	決定	8.	レーザー LED

はじめに

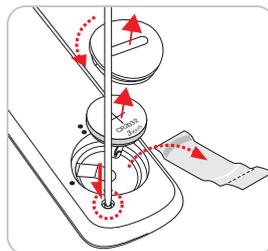
リモコン



番号	項目	番号	項目
1.	電源オン/オフ	7.	ソース
2.	ホーム	8.	戻る
3.	4方向選択キー	9.	決定
4.	ミュート	10.	ディスプレイモード
5.	音量 -	11.	アプリメニュー
6.	メニュー	12.	音量 +

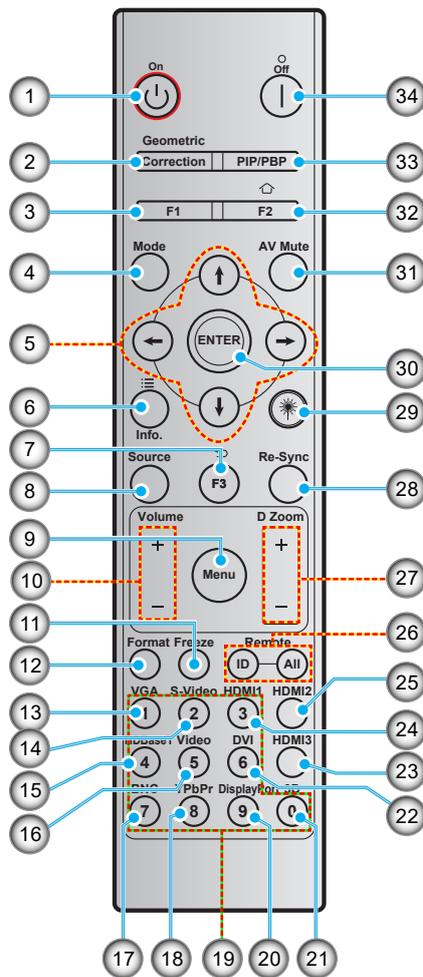
注:

- これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。
- 初めてリモコンを使用する前に、透明の絶縁テープを剥がしてください。バッテリーの取り付けの詳細については、21 ページを参照してください。



- リモコンの電池の同梱は、地域によって異なる場合があります。

はじめに



番号	項目	番号	項目
1.	パワーオン	18.	YPbPr (未サポート)
2.	ジオメトリ補正	19.	テンキー (0-9)
3.	ファンクションボタン (F1) (割り当て可能)	20.	DisplayPort (未サポート)
4.	モード	21.	3D
5.	4方向選択キー	22.	DVI (未サポート)
6.	APP 設定	23.	HDMI3
7.	戻る	24.	HDMI1
8.	ソース	25.	HDMI2
9.	メニュー	26.	リモート ID / リモート全部
10.	音量 +/-	27.	デジタルズーム - / +
11.	フリーズ	28.	再同期
12.	フォーマット (アスペクト比)	29.	レーザーポインター (*)
13.	VGA (未サポート)	30.	決定
14.	S-ビデオ (未サポート)	31.	AV 消音
15.	HDBase-T (未サポート)	32.	ホーム
16.	ビデオ (未サポート)	33.	PIP/PBP (未サポート)
17.	BNC (未サポート)	34.	電源オフ

注:

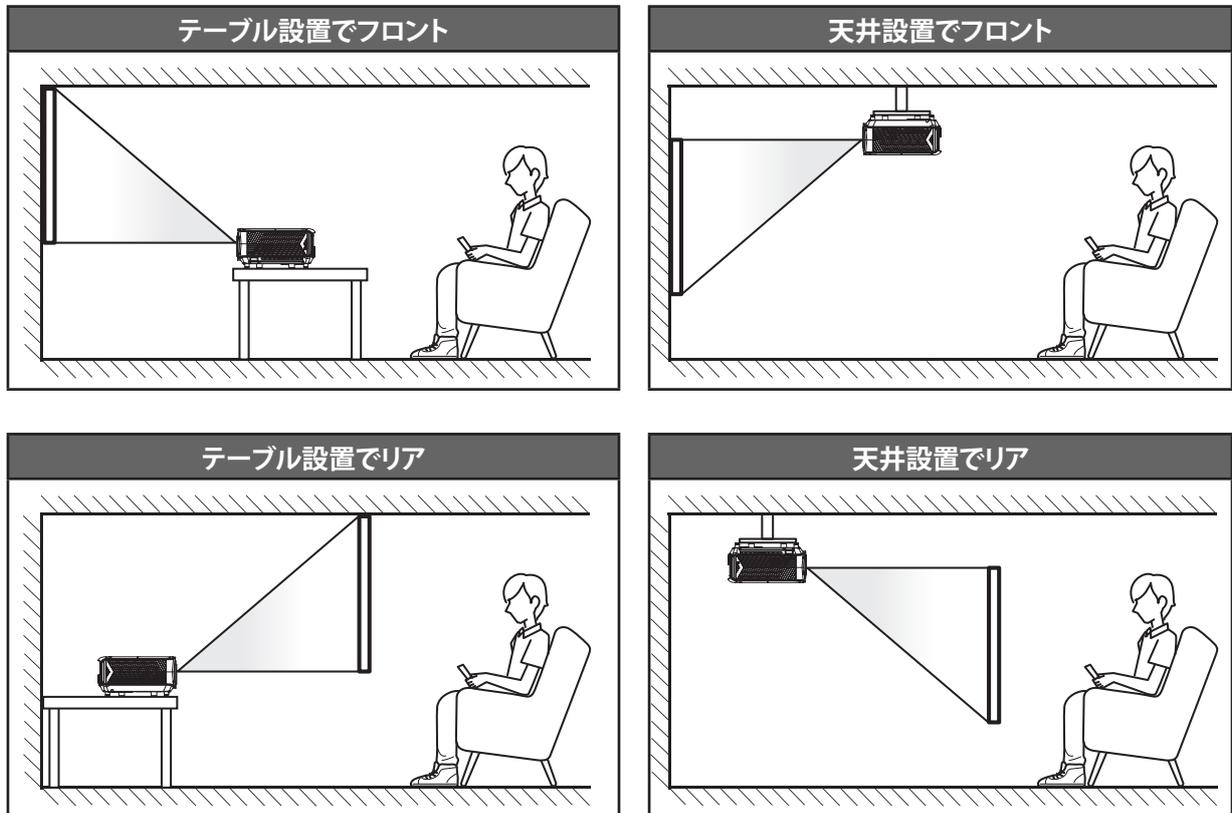
- これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。
- (*) 利用可能な機能は地域によって異なります。

設定と設置

プロジェクターを設置する

このプロジェクターは設計上、4つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して90度/垂直にします。

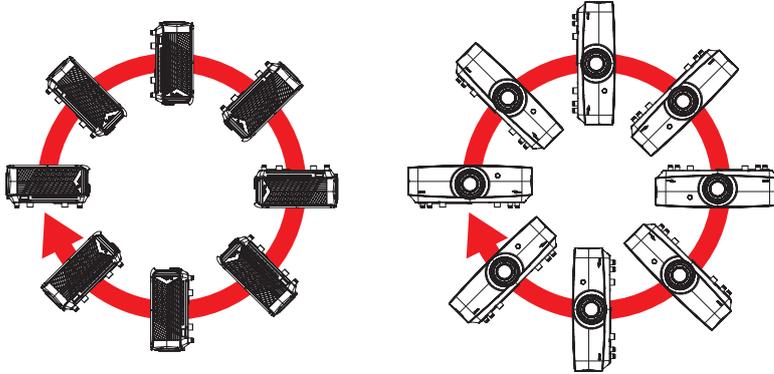
- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、～76ページの距離表を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、～76ページの距離表を参照してください。

注: プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投影される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。

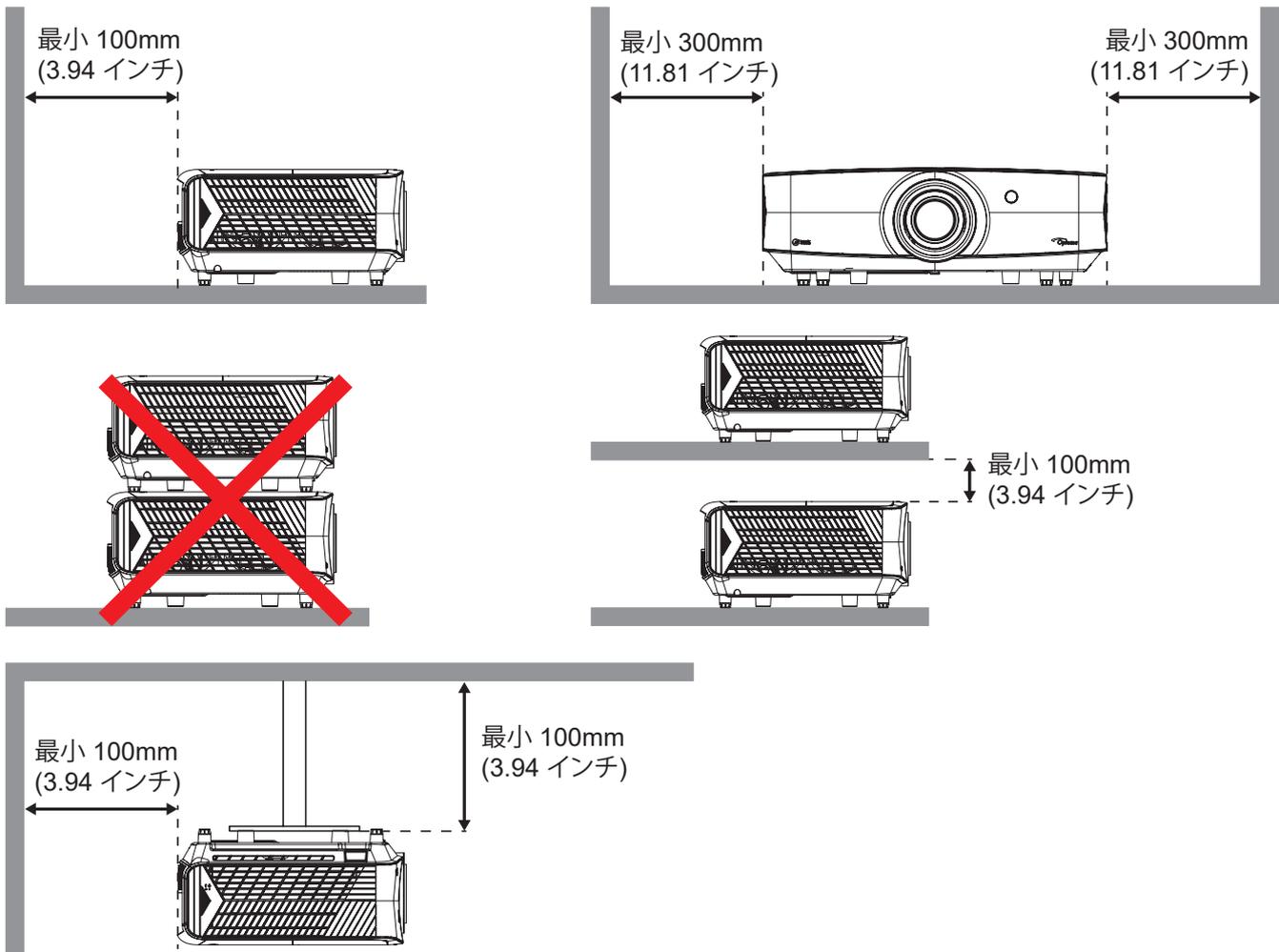
設定と設置

プロジェクターの取り付けに関する注意

- 360° の自由方向操作



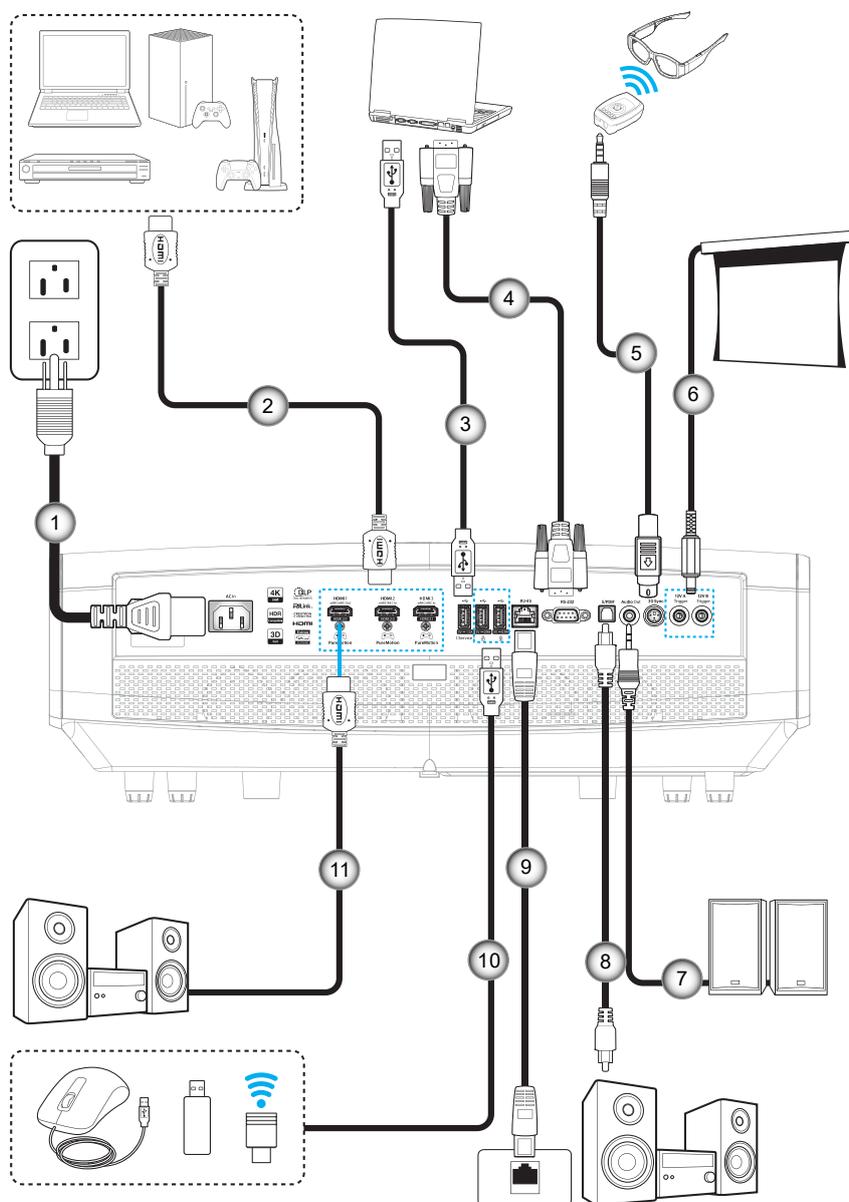
- 排気口の周囲に少なくとも 30 cm のスペースを確保してください。



- 吸気口が排気口からの熱い空気を取り込まないようにしてください。
- 密閉された空間でプロジェクターを操作する場合は、プロジェクターが動作している間は、筐体内の周囲温度が動作温度を超えないようにし、吸気口と排気口に障害物がないようにしてください。
- エンクロージャの温度が許容動作温度範囲であっても、デバイスがシャットダウンする可能性があるため、プロジェクターが排気を取り込まないように、すべてのエンクロージャは認定熱評価に合格する必要があります。

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目	番号	項目
1.	電源コード	7.	スピーカーケーブル
2.	HDMI ケーブル	8.	S/PDIF 出力ケーブル
3.	USB ケーブル	9.	RJ-45 ケーブル
4.	RS232 ケーブル	10.	USB ケーブル
5.	3D エミッターケーブル	11.	HDMI ケーブル
6.	12V DC ジャック		

注: 最良の画質を確保し、接続エラーを防止するために、最大 5 メートルの高速またはプレミアム認定 HDMI ケーブルを使用してください。

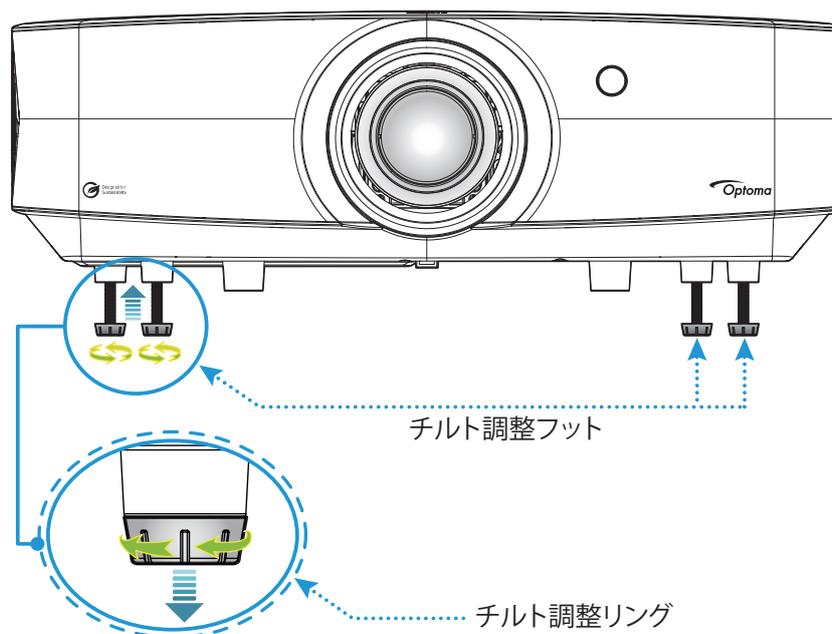
設定と設置

投影画像の調整

画像の高さ

本プロジェクターには、投影映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

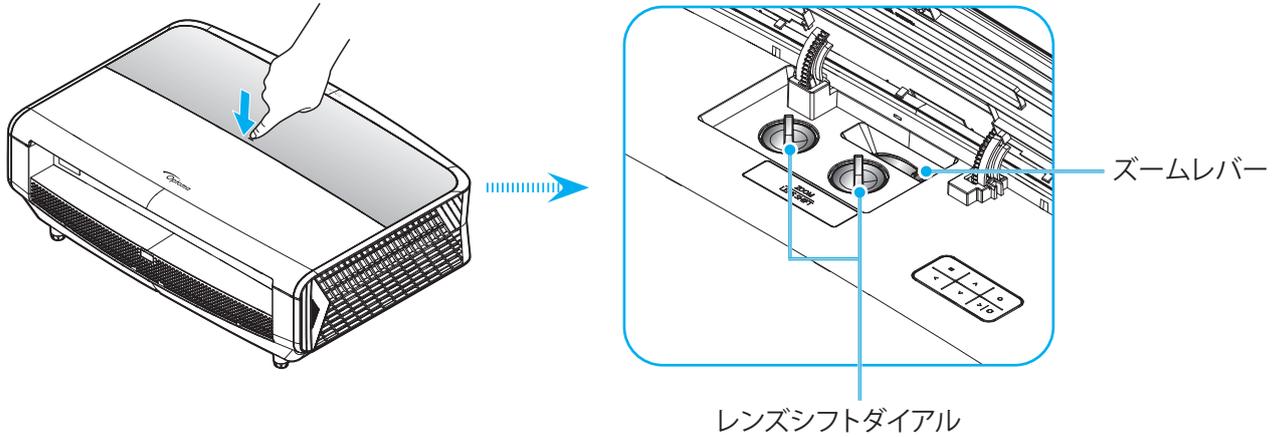
1. プロジェクターの底面の変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



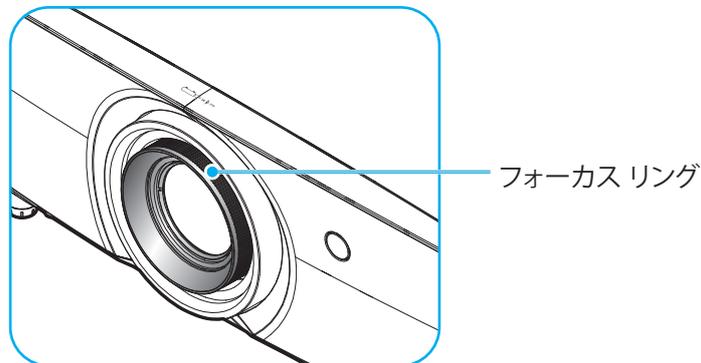
設定と設置

ズーム、レンズシフト、および、フォーカス

- 画像の大きさおよび位置を調整するには、以下を行ってください。
 - a. 上部カバーの中央をしっかりと押し下げ、ラッチをロック解除します。次に、上部カバーを開きます。



- b. 画像の大きさを調整するには、ズームレバーを時計方向または反時計方向に回し、投射される画像の大きくまたは小さくします。
 - c. 画像の位置を調整するには、レンズシフトダイヤルを時計方向または反時計方向に回し、投射される画像の位置を水平方向または垂直方向に調整します。
- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。



注: このプロジェクターは 1m ~ 10m の距離でピントを合わせることができます。

設定と設置

リモート設定

電池の取り付け/交換

1. ボタンを押して電池カバーを外します。カバーが開くまでコインを使用して、電池カバーを反時計回りに回します。
2. コンパートメントに新しい電池を取り付けます。
古い電池を取り外し、新しい電池を取り付けます (CR2032)。「+」のある面を必ず上に向けてください。
3. カバーを元のように取り付けます。次にコインを使用して、電池カバーを時計回りに回して、所定の位置に固定します。



注意事項:

安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

- CR2032 タイプの電池を使用してください。
- 水または液体に接触させないようにしてください。
- リモコンを湿気または熱に曝さないでください。
- リモコンを落下させないでください。
- 電池がリモコン内で液漏れした場合は、慎重にケースをきれいに拭き取り、新しい電池を取り付けてください。
- 間違ったタイプの電池に交換すると爆発の危険性があります。
- 指示に従って、使用済電池を廃棄してください。



警告: 電池を摂取しないでください、化学火傷の危険があります。

- この製品には、コイン/ボタン電池が含まれています。コイン/ボタン電池を飲み込むと、わずか 2 時間で重度の火傷を負い、死亡する可能性があります。



警告: 新品および使用済みの電池は、お子様の手の届かないところに保管してください。

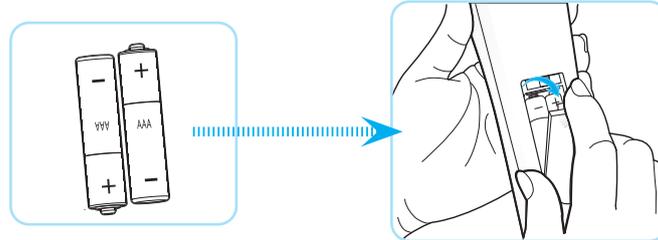
- バッテリーコンパートメントがしっかり閉まらない場合は、使用を中止し、お子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり、身体のどこかに入ったと思われる場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

設定と設置

電池の取り付け/交換

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単 4 電池をバッテリーコンパートメントに挿入します。
3. リモコンのカバーを戻します。



注: 交換には同じ電池か同種の電池のみをご利用ください。

注意事項: 安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

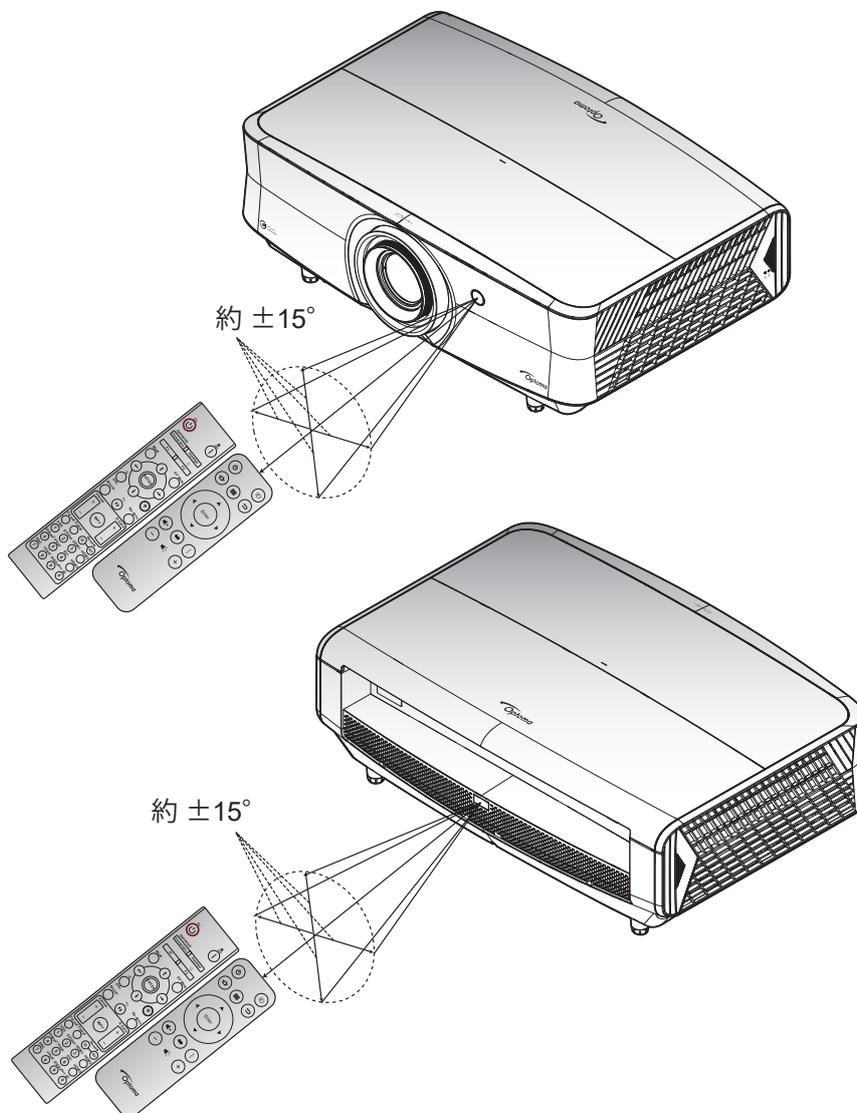
- 間違ったタイプのバッテリーに交換すると、安全装置が無効になる可能性があります (単 4 サイズのバッテリータイプに交換します)。
- バッテリーを火や高温のオープンに廃棄したり、バッテリーを機械的に押しつぶしたり切断したりすると、爆発が起こる可能性があります。
- バッテリーを周囲温度が非常に高い環境に放置すると、爆発や可燃性の液体やガスが漏れる可能性があります。
- バッテリーを極めて低い気圧に曝すと、爆発または可燃性の液体または気体の漏れを引き起こす可能性があります。
- 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- 使い切った電池はすぐに外してください。バッテリーから漏れた化学物質が皮膚に接触すると、かぶれを引き起こす可能性があります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- リモコンを長期間使用しない場合は、化学物質の漏れの危険を減らすために電池を取り外してください。

設定と設置

有効範囲

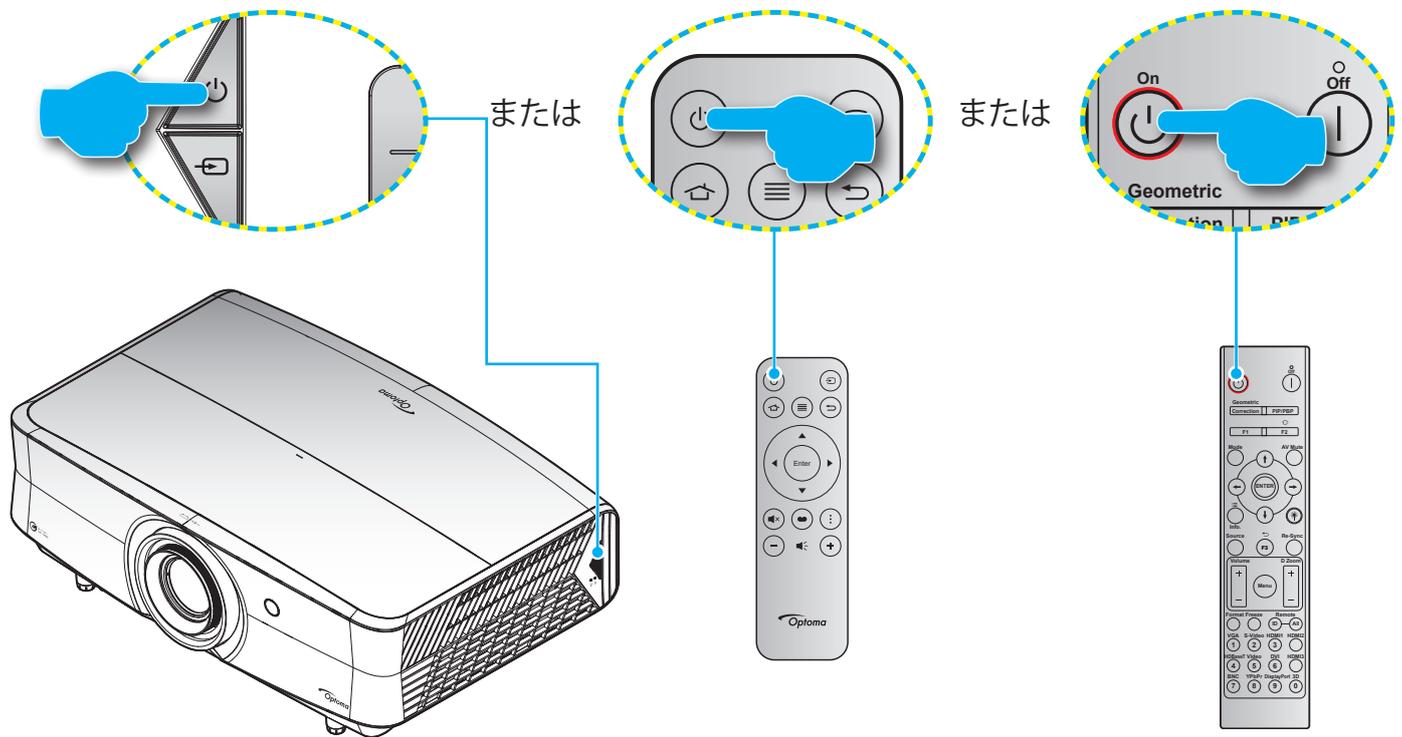
赤外線 (IR) リモコンセンサーは、プロジェクターの上面と前面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30 度以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は、 $\pm 15^\circ$ の角度で保持する場合は 6 メートル (19.7 フィート) 以内、センサーを 0° で向ける場合は 8 メートル (26.2 フィート) 以内にしてください。

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないでください。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 5 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。



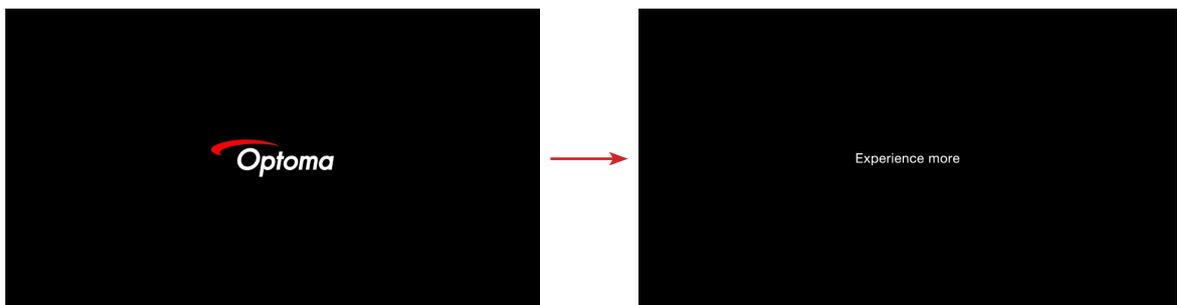
プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



パワーオン

1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続すると、電源 LED が青色に点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [P] を押し、プロジェクターの電源を入れます。電源 LED が青色に点滅します。Optoma のブート ログとアニメーションが画面に表示されます。

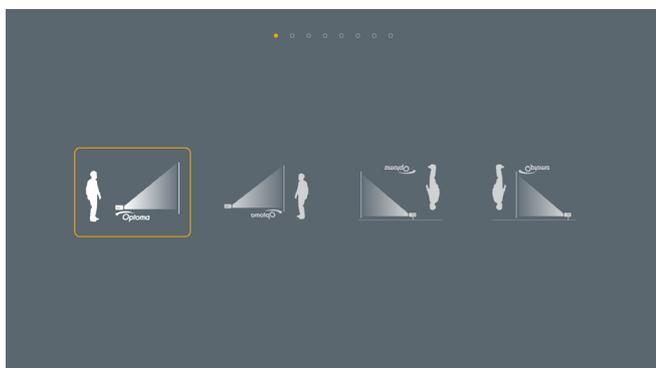


3. 約 10 秒以内にランチャー画面が表示され、電源 LED が青色に点灯します。



プロジェクターを使用する

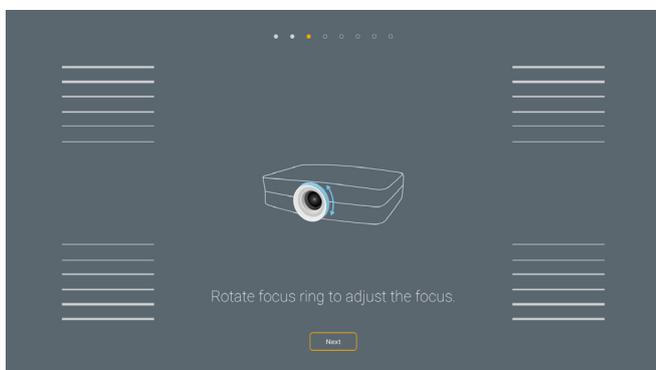
初めてプロジェクターの電源を入れると、投射方向、使用言語、ネットワーク設定を含む初期設定を行うように求められます。**設定完了**画面が表示されたら、これはプロジェクターが使用できる状態であることを示します。



[投影画面]



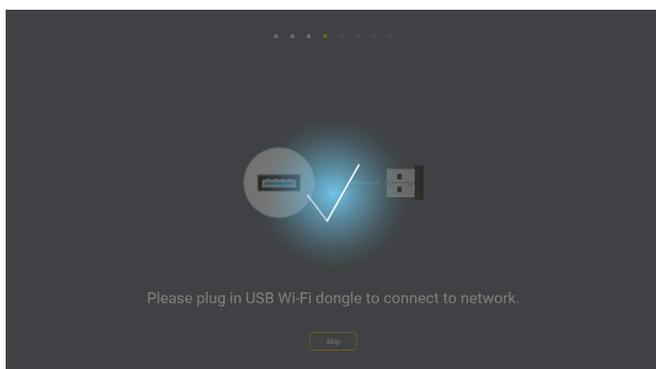
[言語画面]



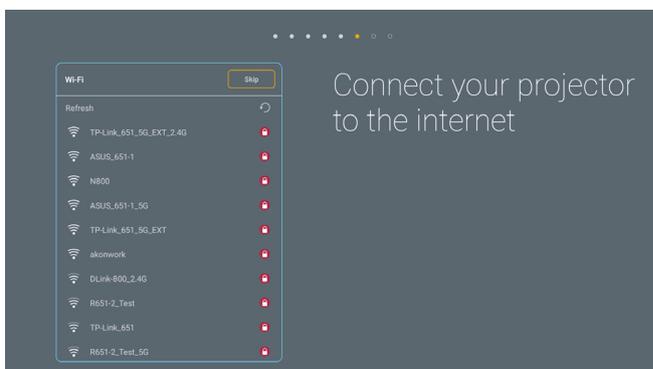
[フォーカス調整画面]



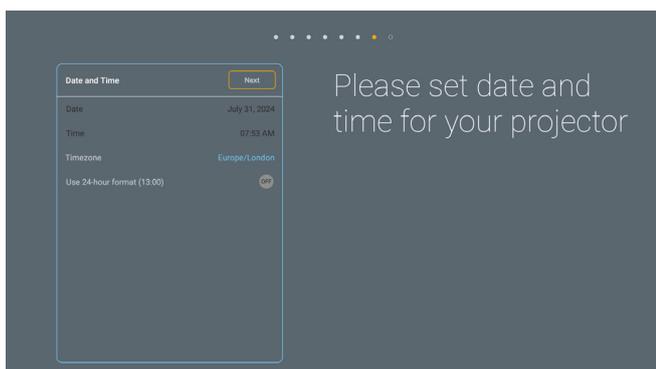
[Wi-Fi ドングル設置画面]



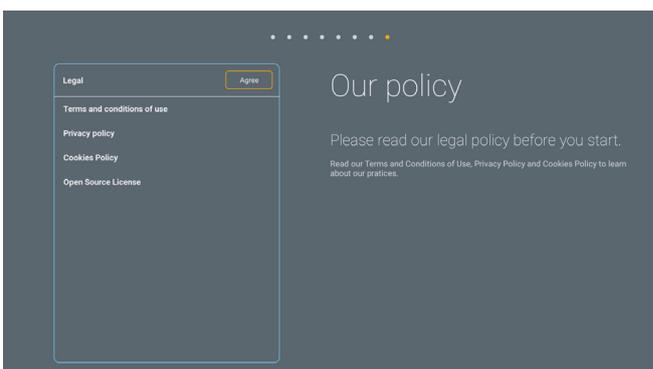
[Wi-Fi ドングル設置画面 (続き)]



[ネットワーク画面]



[日時画面]

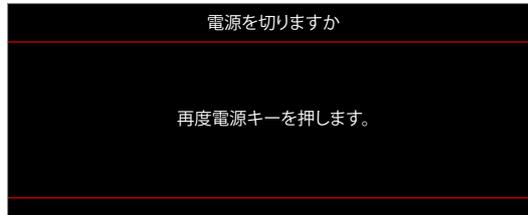


[規制画面]

プロジェクターを使用する

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] ボタンを押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 次のメッセージが表示されます。



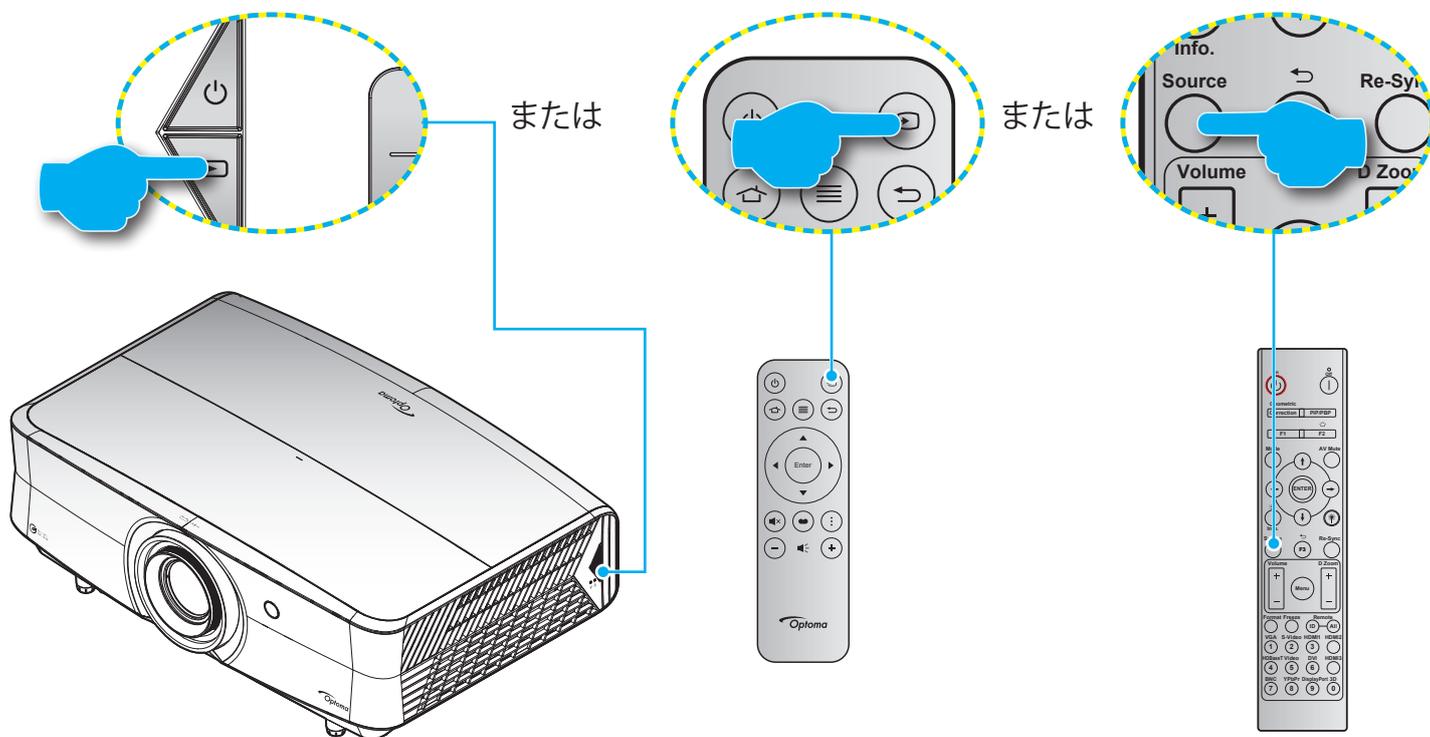
3. [⏻] ボタンを再び押し確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に [⏻] ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、[⏻] ボタンを押すだけでプロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

注: 電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。

プロジェクターを使用する

入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど) の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [Source] ボタンを押し、入力を選択します。



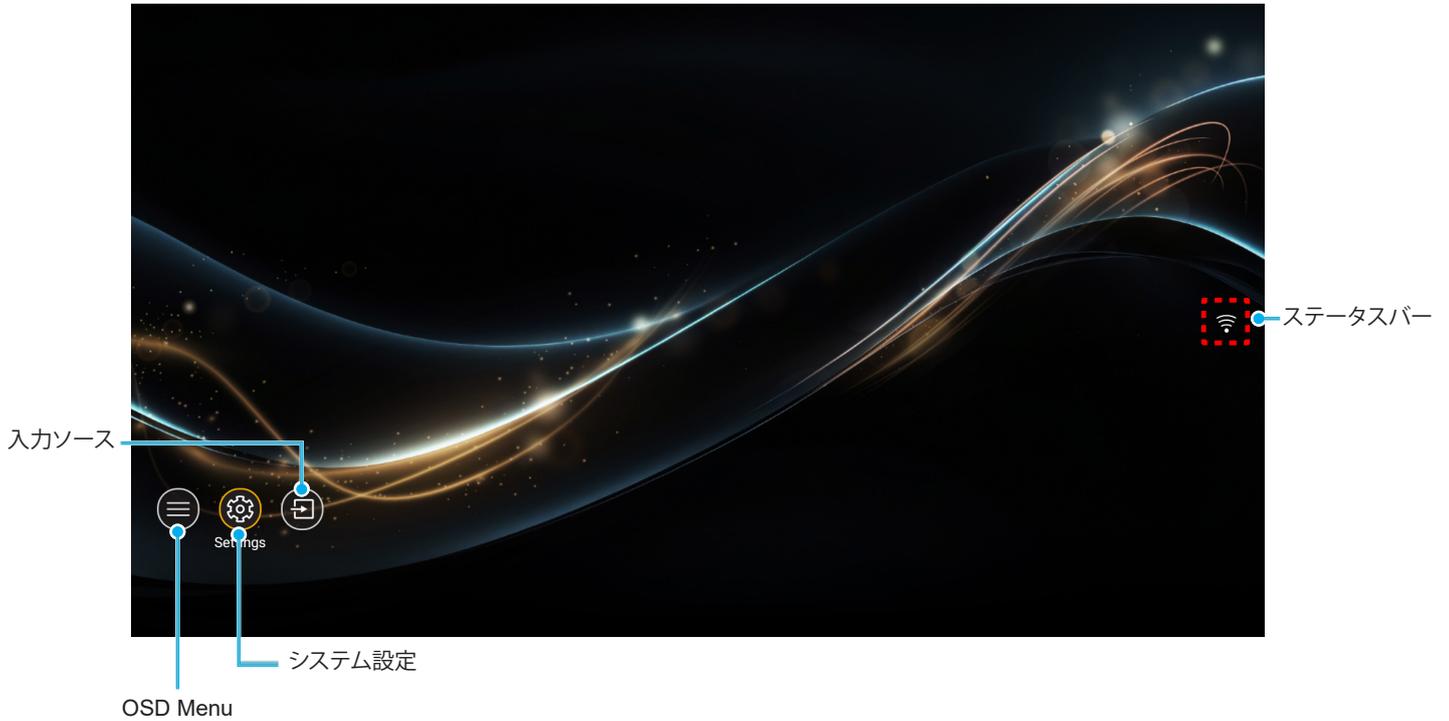
プロジェクターを使用する

ランチャー画面の概要

ランチャー画面は、プロジェクターを起動するためのホームページです。システムステータス、さまざまなアプリにアクセスするためのショートカットなどが含まれています。

ランチャー画面を移動するには、リモコンのボタンを使用してください。

ユーザーインターフェイス内の位置に関係なく、リモコンの「」を押して、いつでもホーム画面に戻ることができます。



注: 例えば、上図の「設定」のように、選択されたメニューまたは項目が黄色にハイライト表示されます。

プロジェクターを使用する

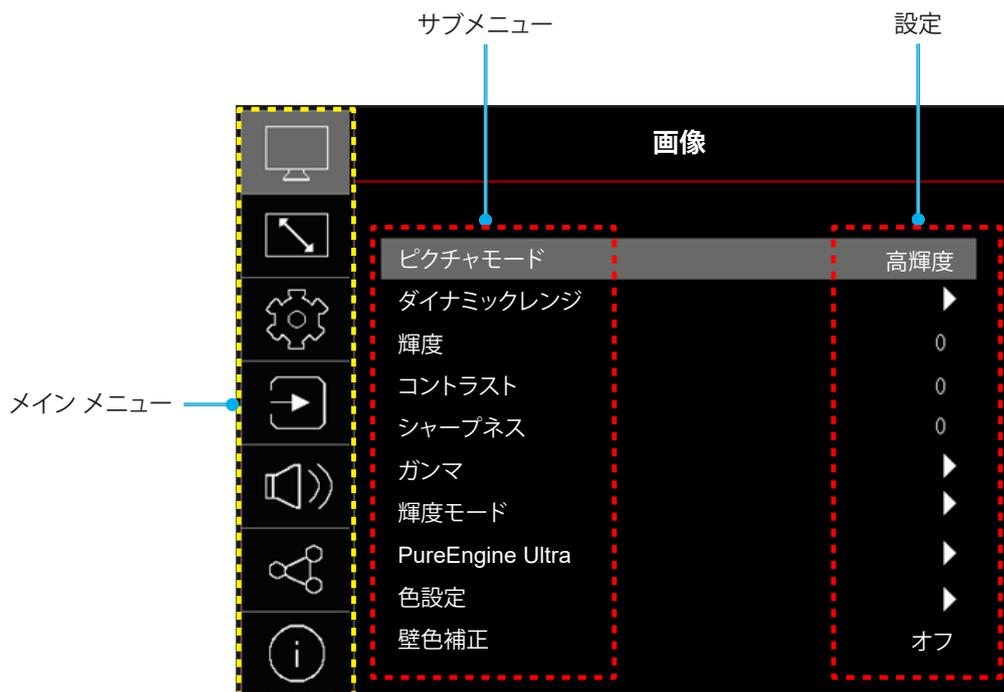
メニューナビゲーションと機能

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。

一般的なメニューのナビゲーション

操作	リモコンのボタン	プロジェクターキーパッドの使用
OSDメニューを開く	≡ ボタンを押す	≡ ボタンを押す
項目を選択する	▲/▼ ボタンを押す	▲/▼ ボタンを押す
サブメニューに入る	Enter ボタンを押す	○ ボタンを押す
設定を調整する	▲/▼/◀/▶ ボタンを押す	▲/▼/◀/▶ ボタンを押す
選択を確認する	Enter ボタンを押す	○ ボタンを押す
前の項目に移動する	≡ ボタンを押す	≡ ボタンを押す
OSDメニューを閉じる	≡ ボタンを押す	≡ ボタンを押す

注: ホーム画面で **OSDメニュー** (ⓘ) を選択して OSDメニューを開くこともできます。



プロジェクトターを使用する

OSD メニューツリー

注: OSD メニューツリーの項目と機能は、モデルおよび地域によって異なります。Optoma は、製品の性能を向上させるため、事前通知なしに追加または削除する権利を有します。

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
画像	ピクチャモード				鮮明	
					HDR	
					HLG	
					シネマ	
					ゲーム	
					リファレンス	
					WCG	
					高輝度	
					Dolby Vision Bright	
					Dolby Vision Dark	
					Dolby Vision Vivid	
					HDR10+	
					AI-PQ	
					3D	
					ISF昼	
					ISF夜	
					ISF Day HDR	
				ISF Night HDR		
				ISF 3D		
		ダイナミックレンジ		HDR/HLG		自動/オフ
		輝度				-50 ~ 50
		コントラスト				-50 ~ 50
		シャープネス				1 ~ 15
		ガンマ				フィルム
						グラフィック
						1.8
						2.0
						2.2
		輝度モード				2.4
						DynamicBlack 1
						DynamicBlack 2
						DynamicBlack 3
	PureEngine Ultra				Power = 100% / 95% / 90% / 85% / 80% / 75% / 70% / 65% / 60% / 55% / 50%	
				ピュアコントラスト	オフ / 1 / 2 / 3	
				PureLight	オフ / 1 / 2 / 3	
				ピュアカラー	オフ / 1 / 2 / 3	
				ピュアモーション	オフ / 1 / 2 / 3	
	色設定				PureDetail	
					色の濃さ	
					色あい	
					BrilliantColor™	
					1 ~ 10	

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値		
画像	色設定	色温度			低		
					標準		
					高		
					冷色		
			11 Points RGB Balance				-50 ~ 50
		色域					ネイティブ
							DCI-P3
							Rec.709
		CMS	色の濃さ	色の濃さ			白/赤/緑/青/シアン/マゼンタ/黄
				色あい			-50 ~ 50
				彩度			-50 ~ 50
				Luminance			-50 ~ 50
			リセット				いいえ
		RGBゲイン/バイアス	赤ゲイン				-50 ~ 50
			緑ゲイン				-50 ~ 50
			青ゲイン				-50 ~ 50
			赤バイアス				-50 ~ 50
			緑バイアス				-50 ~ 50
			青バイアス				-50 ~ 50
			リセット				いいえ
							はい
			カラースペース				自動 / RGB (0-255) / RGB (16-235)
		壁色補正					オフ
						黒板	
						ライトイエロー	
						ライトグリーン	
						ライトブルー	
						ピンク	
						Gray	
	3D	3Dモード				オフ	
						オン	
		3D同期タイプ				DLPリンク	
						3D 同期	
		3D映像フォーマット					自動
							サイドバイサイド
							トップアンドボトム
							フレームシーケンシャル
						フレームパッキング	
		3D 同期反転					オフ
						オン	
	リセット					いいえ	
						はい	
		リセット					

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値		
ディスプレイ	低レイテンシーモード				オン		
					ALLM		
					オフ		
	アスペクト比					4:3	
						16:9	
						V-Stretch	
						完全 [ビデオ]	
						21:9	
						32:9	
						ネイティブ	
						自動	
	ジオメトリ補正	垂直キーストン				-30 ~ 30	
						-30 ~ 30	
		水平キーストン					
		4 コーナー調整					
		ワーピング					オフ
							オン
		ワーブ制御					「上」「下」「左」「右」を押してポイントに焦点を合わせ、「OK」を押して、ポイントを選択します。次に、「上」「下」「左」「右」を押して、選択したポイントの位置を移動します。[デフォルト:左上]。
			グリッドカラー				緑
							マゼンタ
						赤	
リセット				シアン			
エッジマスク					0 ~ 10		
デジタルズーム	ズーム				-5 ~ 20		
画像シフト	水平 				-100 ~ 100		
	垂直 				-100 ~ 100		
リセット							
設定	テストパターン				緑のグリッド		
					マゼンタのグリッド		
					白グリッド		
					白		
					オフ		
	投射位置					フロント	
						リア	
						天吊り - トップ	
						背面 - 上部	
	言語					English	
						Arabic	
						Czecho	
						Danish	
						Dutch	

プロジェクトターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
設定	言語				Farsi	
					Finnish	
					French	
					German	
					Greek	
					Hungarian	
					Indonesian	
					Italian	
					日本語	
					Korean	
					Norwegian	
					Polish	
					Portuguese	
					Romania	
					Russian	
					Simplified Chinese	
					Spanish	
					Swedish	
					Thai	
					Traditional Chinese	
				Turkish		
				Vietnam		
		メニュー設定	メニュー位置			左上 
						右上 
						中央 
						左下 
						右下 
			メニュータイマー			オフ
						5秒
						10秒
						20秒
						30秒
		信号表示			オフ	
					オン	
		高地モード			オフ	
					オン	
		電源設定	電源検知オートパワーオン			オフ
						オン
			信号検知オートパワーオン			オフ
						オン
			オートパワーオフ (分)			0, 2 ~ 180 (1 分の増分)
			スリープタイマー (分)			0 ~ 990 (30 min increments)

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
設定	電源設定	電源モード(スタンバイ)			エコ	
					通信	
		12VトリガA			オフ	
					オン	
		12VトリガB			オフ	
					オン	
	セキュリティ	セキュリティ			オフ	
					オン	
		セキュリティタイマー	月			
			日			
	時					
	パスワードの変更					
	本体キー設定	キーパッド			オフ	
					オン	
	背景色				なし	
					青	
					赤	
					緑	
				Gray		
デバイスリセット	OSDをリセット			いいえ		
				はい		
	すべての設定をリセット			いいえ		
				はい		
入力	オートソース			オフ		
				オン		
	Rename Input Source	HDMI 1 / HDMI 2 / HDMI 3 / ホーム			デフォルト	
					カスタム	
	Input Hide	HDMI 1 / HDMI 2 / HDMI 3 / ホーム			いいえ	
					はい	
	HDMI CEC設定	HDMI Link			オフ	
					オン	
		電源オン設定			双方向設定	
					PJ --> デバイス	
					デバイス --> PJ	
					双方向設定	
	電源オフ設定			PJ --> デバイス		
				デバイス --> PJ		
	リセット			いいえ		
			はい			

プロジェクトターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
オーディオ	音量				0 ~ 10	
	ミュート				オフ	
					オン	
	オーディオモード				自動	
					標準	
					シアター	
	オーディオ出力				ゲーム	
					自動	
					内蔵スピーカー	
	Audio Output Settings				ライン出力 (3.5mm)	
				Analog		
				SPDIF		
リセット				eARC		
				いいえ		
コントロール	リセット				はい	
					いいえ	
	デバイスID				0 ~ 99	
	LAN	ネットワーク情報				(読み取り専用。接続 / 切断)
		MACアドレス				(読み取り専用)
		DHCP				オフ/オン
		IPアドレス				192.168.0.100
		サブネットマスク				255.255.255.0
		ゲートウェイ				192.168.0.254
		DNS 1				192.168.0.51
		DNS 2				0.0.0.0
		リセット				
	コントロール	クレストロン				オフ
						オン
		エクストロン				オフ
						オン
		PJ Link				オフ
						オン
		AMX デバイス検出				オフ
						オン
	Telnet				オフ	
					オン	
	HTTP				オフ	
					オン	
	コントロール 4				オフ	
					オン	
	リセット					いいえ
					はい	

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
情報	制御					
	シリアル番号					
	ソース情報					ソース
						解像度 (00x00)
						リフレッシュレート (0.00 Hz)
	ピクチャモード					
	カラー情報					カラービット深度
						色域
						カラースペース
	電源モード(スタンバイ)					通信/エコ
	Light Source Hours					
	輝度モード					
	デバイスID					00 ~ 99
	IPアドレス					
	ネットワーク情報					
	MACアドレス					
	Bluetooth リモート Status					
	FWバージョン	DDP				
MCU						
スカラー						

プロジェクターを使用する

イメージメニュー

画像設定を構成する方法について説明します。

サブメニュー

- ピクチャモード
- ダイナミックレンジ
- 輝度
- コントラスト
- シャープネス
- ガンマ
- 輝度モード
- PureEngine Ultra
- 色設定
- 壁色補正
- 3D

ピクチャモード

表示の好みに合わせて選択できる、事前定義されたディスプレイモードがいくつかあります。各モードは、幅広いコンテンツに対して優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

- **鮮明:** このモードを選択すると、色の彩度と明るさのバランスが取れ、表示が明るくなります。環境光があるセットアップ、またはより明るい画像/プレゼンテーションが必要な場合は、このモードを選択してください。
- **HDR /HLG:** ハイダイナミックレンジ (HDR)/Hybrid Log Gamma (HLG) コンテンツを復号し、表示し、DCI-P3 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。このモードは、HDR/HLG が自動に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR/HLG コンテンツがプロジェクターに送信されます - 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HD/HLGR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR/HLG モードが有効なとき、他のディスプレイモード (映画や参照など) は選択できません。HDR/HLG は、他のディスプレイモードの色パフォーマンスを超える、非常に精密な色を再現するからです。
- **シネマ:** 映画鑑賞に最適なディテールと色のバランスを提供します。
- **ゲーム:** ビデオゲームをプレイするときに影の詳細を確認できるように、最大のコントラストと鮮やかな色にプロジェクタを最適化します。
- **リファレンス:** このモードは、映画監督が意図したように、画像にできるだけ近い色を再現します。色、色温度、輝度、コントラスト、ガンマの設定はすべて Rec.709 の色域に設定されています。映画を見ているときに最も正確な色再現を行うには、このモードを選択します。
- **WCG (広い色域):** より広い範囲の色を提供します。WCG は非 HDR 表示モードであり、SDR コンテンツでのみ使用できます。WCG とリファレンスピクチャモードは、最も色精度の高い非 HDR ピクチャモード (SDR) を表します。
- **高輝度:** このモードは、明るい部屋でプロジェクターを使用するなど、非常に高い輝度が必要な環境に適しています。
- **Dolby Vision Bright:** Dolby Vision は、シーンごとに優れたトーンマッピングと優れたビット深度およびコントラストを可能にする動的なメタデータをデコードして、魅力的な HDR 画像をデコードして表示します。Dolby Vision Bright は Dolby Vision Dark よりも明るい視覚的明るさを特徴とし、より白い白を実現し、暖色系と肌の色調を強調します。

プロジェクターを使用する

- **Dolby Vision Dark:** Dolby Vision は、シーンごとに優れたトーンマッピングと優れたビット深度およびコントラストを可能にする動的なメタデータをデコードして、魅力的な HDR 画像をデコードして表示します。Dolby Vision Dark は、Dolby Vision Bright よりも暗い視覚的な明るさに重点を置いており、より深い黒を含むより強力なコントラストを実現します。
注: ソースコンテンツ (ストリーミングビデオ、4K HDR Blu-ray、4K ゲーム) とソースプレーヤー (FireTV 4K Stick/Cube、Shield TV 4K、Xbox Series X、4K HDR Blu-ray プレーヤー) は Dolby Vision をサポートしている**必要があります**。PS5 は Dolby Vision をサポートしていません。
 - **Dolby Vision Vivid:** Dolby Vision は、シーンごとに優れたトーンマッピングと優れたビット深度およびコントラストを可能にする動的メタデータをデコードして、見事な HDR 画像をデコードして表示します。Dolby Vision Vivid は、より明るく鮮明な光学アルゴリズムを適用して、より高い輝度とより鮮明な視覚パフォーマンスを実現します。
 - **HDR10+:** フレームごとに動的メタデータをデコードして HDR10+ コンテンツをデコードおよび表示し、HDR10+ コンテンツの明るい部分と暗い部分の詳細を強調して、HDR10 よりも優れた HDR の視覚体験を実現します。
注: ソースコンテンツ (ストリーミングビデオ、4K HDR Blu-ray、4K ゲーム) とソースプレーヤー (FireTV 4K Stick/Cube、Shield TV 4K、Xbox Series X、4K HDR Blu-ray プレーヤー) は HDR10+ をサポートしている**必要があります**。PS5 は HDR10+ をサポートしていません。
 - **AI-PQ (AI 画質):** 統合 AI 処理ユニットを使用したリアルタイムの顔とシーン認識により、最高の視覚体験が実現します。AI-PQ はすべての画面の画質を同時に最適化します。
 - **3D:** 3D コンテンツを視聴するための最適化された設定。
注: 3D 効果を体験するには、互換性のある DLP Link 3D メガネを用意する必要があります。詳細については、「3D」のセクションをご覧ください。
 - **ISF昼:** 画像を完璧に校正できるように ISF Day モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
 - **ISF夜:** 画像を完璧に校正できるように ISF Night モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
 - **ISF Day HDR:** 画像を完璧に校正できるように ISF Day HDR モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
 - **ISF Night HDR:** 画像を完璧に校正できるように ISF Night HDR モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
 - **ISF 3D:** 画像を完璧に校正できるように ISF 3D モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- 注:** HDR、HDR10+、Dolby Vision、eARC を利用する場合は、4K120/8K30 HDMI 2.1 ケーブルを使用してください (これらは高品質で、信号減衰が少ないかまったくありません)。

ダイナミックレンジ

HDR/HLG

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR)/Hybrid Log Gamma (HLG) 設定およびその効果を構成します。

- **自動:** HDR/HLG/HDR10+/Dolby Vision 信号を自動検出します。
- **オフ:** HDR/HLG/HDR10+/Dolby Vision Processing をオフにします。オフに設定すると、プロジェクターは HDR/HLG/HDR10+/Dolby Vision コンテンツをデコードしません。

輝度

画像の輝度を調整します。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

プロジェクターを使用する

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

ガンマ

ガンマカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、ガンマ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム:** ホームシアター用。
- **グラフィック:** PC/写真ソース用。
- **1.8/2.0/2.2/2.4:** 特定の PC/写真ソース用。

輝度モード

ブライトネスモードの設定を調整します。

- **DynamicBlack 1/ DynamicBlack 2/ DynamicBlack 3:** 最適なコントラストパフォーマンスを発揮できるよう、画像の輝度を自動的に調整するために使用します。
- **Power:** ブライトネスモードの消費電力パーセンテージを選択します。

PureEngine Ultra

PureEngine パラメーターを調整します。

- **ピュアコントラスト:** 暗い/明るい映画のシーンで細部まではっきり表示できるように、ディスプレイの輝度を自動的に最適化するために使用します。
- **PureLight:** SDR/HDR の明るい領域をさらに明るくするために使用します。明るい領域のさまざまなレベルについては、オフ、1、2、3 から選択します。
- **ピュアカラー:** 画像の鮮明さを大幅に増やすために使用します。
- **ピュアモーション:** 表示される画像の自然な動きを保持するために使用します。
- **PureDetail:** 画像のシャープネスを大幅に増やすために使用します。

プロジェクターを使用する

色設定

色の濃さ

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

BrilliantColor™

新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。

色温度

低、標準、高、または冷色から色温度を選択します。

11 Points RGB Balance

赤、緑、青の色バランスを調整します。

色域

色域を ネイティブ、DCI-P3、Rec.709 から調整します。

CMS

次のオプションを選択します：

- **色の濃さ:** 画像の赤、緑、青、シアン、黄、マゼンタ、白レベルを調整します。
- **色あい:** 赤と緑のカラーバランスを調整します。
- **彩度:** ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
- **Luminance:** 選択したカラーの輝度を調整します。
- **リセット:** Colour Adjustment を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

RGBゲイン/バイアス

この設定で画像の輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成できます。

- **赤/緑/青ゲイン:** 画像の明るい領域の色を調整します。
- **赤/緑/青バイアス:** 画像の暗い領域の色を調整します。
- **リセット:** グレースケール (ホワイトバランス) 調整を工場出荷時の設定に戻します。

カラースペース

以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: 自動、RGB (0-255)、またはRGB (16-235)。

壁色補正

スクリーンのない壁に投影するときに、投影される画像の色を調整するように設計されています。各モードは、優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

壁の色に合わせて選択できる、事前定義されたモードがいくつかあります。オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、Gray から選択します。

注: 正確な色再現のために、スクリーンの使用をお勧めします。

プロジェクターを使用する

3D

注:

- このプロジェクターは、DLP-Link 3D ソリューションを備えた完全な 3D プロジェクターです。
- ビデオを楽しむ前に、DLP リンク 3D コンテンツに 3D メガネが使用されていることを確認してください。
- このプロジェクターは、HDMI1/HDMI2/HDMI3 ポートを介して、フレームシーケンシャル (ページフリップ) 3D をサポートしています。
- 最良の映像を実現するために、1920x1080 の解像度が推奨されます。3D モードでは、4K (3840x2160) の解像度に対応していません。

3Dモード

このオプションを利用し、3D 機能を有効または無効にします。

- **オフ:** [オフ] を選択すると、3D モードがオフになります。
- **オン:** [オン] を選択すると、3D モードがオンになります。

3D同期タイプ

このオプションを使用して、3D 技術を選択します。

- **DLPリンク:** 選択して DLP 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。
- **3D 同期:** IR、RF または偏光 3D 眼鏡用に最適化された設定を使用するために選択します。

3D映像フォーマット

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動:** 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **サイドバイサイド:** 「サイドバイサイド」フォーマットで 3D 信号を表示します。
- **トップアンドボトム:** 3D 信号を [トップアンドボトム] フォーマットで表示します。
- **フレームシーケンシャル:** 3D 信号を [フレームシーケンシャル] フォーマットで表示します。
- **フレームパッキング:** 3D 信号を [フレームパッキング] フォーマットで表示します。

3D 同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

リセット

3D 設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

- **いいえ:** リセットをキャンセルするために選択します。
- **はい:** 3D 設定を工場出荷時設定に戻すために選択します。

リセット

映像設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

プロジェクターを使用する

ディスプレイメニュー

設置状況に応じて映像を適切に投影するための設定方法を説明します。

サブメニュー

- 低レイテンシーモード
- アスペクト比
- ジオメトリ補正
- エッジマスク
- デジタルズーム
- 画像シフト

低レイテンシーモード

この機能を有効にすると、PC、Xbox Series X|S、PS4、PS5、Switch、Steam Deck、Asus Ally Xなどでゲームをするときに応答時間（入力遅延）が短縮されます。すべてのジオメトリ設定（例：キーストーン、ワーピング）は、低遅延モードが有効な場合は無効になります。ジオメトリ設定には処理が必要であり、処理によって「インパクトラグ」が発生します。

ソースタイミング	入力遅延
1080p60	約 20 ミリ秒
1080p120	約 12.5 ミリ秒
1080p240	約 8.5 ミリ秒
4K60	約 20 ミリ秒

ALLM を使用すると、サポートされているゲームコンソール（Xbox Series X|S、PS5、PC（サポートされている GPU（グラフィックスプロセッシングユニット）を搭載）がプロジェクターに信号を送信できるようになり、プロジェクターはゲーム用の低遅延、低ラグモードを自動的に有効にします。ALLM を使用するには、OSD のメインメニューの [ディスプレイ] の下にある [ALLM 設定] を [ALLM] に設定します。ALLM が有効になっている場合、低遅延をオン/オフにする必要はありません。

アスペクト比

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します：

- **4:3**: このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9**: ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 16:9 入力用です。
- **V-Stretch**: このモードでは、2.35:1/2.4:1 画像が垂直方向に引き伸ばされ、黒いバーが削除されます。
- **完全 [ビデオ]**: この特殊 2.0:1 アスペクト比を使って、画面の上部および下部の黒いバーなく、16:9 および 2.35:1 アスペクト比の映画を表示します。
- **21:9**: ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 21:9 入力用です。
- **32:9**: ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 32:9 入力用です。
- **ネイティブ**: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- **自動**: 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

注:

- **垂直ストレッチ モードに関する詳細情報:**
 - 一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレイの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、垂直ストレッチモードを使って 16:9 ディスプレイに画像を合わせることができます
 - 外部アナモルフィックレンズを使用する場合、この垂直ストレッチモードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1 コンテンツ（アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む）を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16x9 ディスプレイに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。光源パワーと垂直方向の解像度がフル活用されます

プロジェクターを使用する

- 全画面表示フォーマットを使用するには、以下を行います:
 - 画面のアスペクト比を 2.0:1 に設定します。
 - 「全画面」形式を選択します。
 - プロジェクターの画像を画面に正しく合わせます。

4K UHD DMD スケーリングテーブル:

16:9 画面	480i/p	576i/p	720p	1080i/p	2160p
4x3	2880 x 2160 に調整します。				
16x9	3840 x 2160 に調整します。				
21x9	3840 x 1644 に調整します。				
32x9	3840 x 1080 に調整します。				
V-Stretch	中央の 3840 x 1620 画像を取得し、その後、3840 x 2160 にサイズ変更して表示します				
全画面表示	5068 x 2852 (132% 拡大) に拡大し、中央の 3840 x 2160 画像を取得します				
自動	ソースが 4:3 の場合、2880 x 2160 に自動的にサイズ変更されます				

4K UHD DMD 自動マッピングルール:

自動	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	3840	2160
4:3	800	600	2880	2160
	1024	768	2880	2160
	1280	1024	2880	2160
	1400	1050	2880	2160
	1600	1200	2880	2160
ワイドノート PC	1280	720	3840	2160
	1280	768	3600	2160
	1280	800	3456	2160
SDTV	720	576	2700	2160
	720	480	3240	2160
HDTV	1280	720	3840	2160
	1920	1080	3840	2160

プロジェクターを使用する

ジオメトリ補正

垂直キーストン

画像の歪みを垂直方向に調整し、正方形の画像を作成します。垂直キーストンは、上下が片側に傾いているキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、垂直軸上アプリケーションでの使用を目的としています。

水平キーストン

画像の歪みを水平方向に調整し、正方形の画像を作成します。水平キーストンは、画像の左右の境界の長さが等しくないキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、水平軸上アプリケーションでの使用を目的としています。

4 コーナー調整

この設定により、投影面が水平でない場合に、投影画像を各コーナーから調整して正方形の画像にすることができます。

ワーピング

ワーピング調整を有効または無効にします。

ワープ制御

▲/▼/◀/▶ キーを押してポイントに焦点を合わせ、**Enter** キーを押してポイントを選択します。次に ▲/▼/◀/▶ を押して、選択したポイントの位置を移動します。

グリッドカラー

ワープパターンのグリッド色を緑、マゼンタ、赤、シアンの中から選択します。

リセット

幾何学補正設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

エッジマスク

この機能を使って、ビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを除去します。

デジタルズーム

スクリーンに投影される画像を縮小または拡大するために使用します。デジタルズームは、光学ズームと同じではなく、画質が劣化する場合があります。

注: ズーム設定は、プロジェクターの電源を入れ直しても保持されます。

画像シフト

投影される画像位置を水平 (H) または垂直 (V) に調整します。

リセット

ディスプレイ設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

設定メニュー

プロジェクターのセットアップ方法について説明します。

サブメニュー

- テストパターン
- 投射位置
- 言語
- メニュー設定
- 高地モード
- 電源設定
- セキュリティ
- 本体キー設定
- 背景色
- デバイスリセット

テストパターン

テストパターンを 緑のグリッド、マゼンタのグリッド、白グリッド、白 から選択するか、この機能 (オフ) を無効にします。

投射位置

フロント、リア、天吊り - トップ、背面 - 上部 から希望の投影を選択します。

言語

多言語 OSD メニューを選択します。

メニュー設定

メニュー位置

画面上に表示されるメニューの位置を選択します。

メニュータイマー

OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

信号表示

この機能を有効にして、情報メッセージを非表示にします。

高地モード

[オン] を選択すると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

電源設定

電源検知オートパワーオン

[オン] を選択すると、電源検知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。

信号検知オートパワーオン

[オン] を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

注:

- [信号検知オートパワーオン] オプションが [オン] に切り替えられている場合、待機モードでのプロジェクターの消費電力は 3W を超えます。
- この機能は HDMI ソースに適用されます。

プロジェクターを使用する

オートパワーオフ (分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

スリープタイマー (分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

注: スリープタイマーは、プロジェクターの電源を切るたびにリセットされます。

電源モード(スタンバイ)

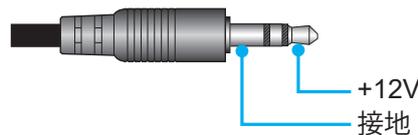
電源モードを設定します。

- **エコ:** [エコ] を選択すると、節電モードになります (<0.5W)。
- **通信:** ネットワーク経由でプロジェクターを制御できるようになるため、消費電力が増加します。

12VトリガA/12VトリガB

この機能を使って、トリガを有効または無効にします。

注: リレーシステム制御用に 12V 500mA (最大) を出力する 3.5 mm ミニジャック。



- **オン:** 「オン」を選択するとトリガが有効になります。
- **オフ:** 「オフ」を選択するとトリガが無効になります。

セキュリティ

セキュリティ

プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、この機能を有効にします。

- **オン:** [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティ検証を行います。
- **オフ:** [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。

注: デフォルトのパスワードは「1234」です。

セキュリティタイマー

時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクターの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクターから再度パスワードを入力するよう要求されます。

パスワードの変更

プロジェクターを電源オンする際、入力するように求められるパスワードを設定または変更するために使用します。

プロジェクターを使用する

本体キー設定

キーパッド

キーパッドロック機能が [オン] であるとき、キーパッドがロックされます。しかし、リモコンでプロジェクターを操作できます。[オフ] を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

背景色

信号が利用できない場合、この機能を使って、青、赤、緑、グレー、または、なしを表示します。

注: 背景色が [なし] に設定されている場合、背景色は黒になります。

デバイスリセット

OSDをリセット

OSD メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

すべての設定をリセット

すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

プロジェクターを使用する

入カメニュー

プロジェクターの入力設定を行う方法について説明します。

サブメニュー

- オートソース
- Rename Input Source
- Input Hide
- HDMI CEC設定

オートソース

利用可能な入力源をプロジェクターに自動検出させるには、このオプションを選択します。

Rename Input Source

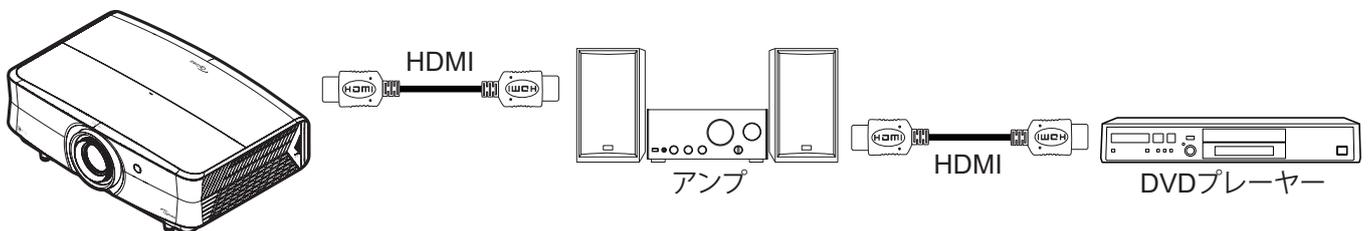
簡単に特定できるように入力機能の名前を変更するために使用します。利用可能なオプションは、[HDMI 1]、[HDMI 2]、[HDMI 3]、および [ホーム] です。

Input Hide

入力ソースメニューから非表示にする入力オプションを選択します。利用可能なオプションは、[HDMI 1]、[HDMI 2]、[HDMI 3]、および [ホーム] です。

HDMI CEC設定

注: HDMI ケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクタに接続するとき、プロジェクターの OSD で HDMI Link コントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。



HDMI Link

HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。

電源オン設定

CEC 電源オンコマンド。

- **双方向設定:** プロジェクターとCECデバイスが両方同時にオンになります。
- **PJ --> デバイス:** プロジェクターがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
- **デバイス --> PJ:** CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオンになります。

電源オフ設定

CEC 電源オフコマンド。

- **双方向設定:** プロジェクターと CEC デバイスが両方同時にオフになります。
- **PJ --> デバイス:** プロジェクターがオフになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオフになります。
- **デバイス --> PJ:** CEC デバイスがオフになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオフになります。

リセット

入力設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクトターを使用する

オーディオメニュー

オーディオ設定を構成する方法について説明します。

サブメニュー

- 音量
- ミュート
- オーディオモード
- オーディオ出力
- Audio Output Settings

音量

音量レベルを調整します。

ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オフ:** [オフ] を選択して、ミュートをオフに切り替えます。
- **オン:** [オン] を選択して、ミュートをオンに切り替えます。

注: [ミュート] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えません。

オーディオモード

自動、標準、シアター、ゲームの中から適切なオーディオモードを選択します。

オーディオ出力

音声出力を 自動、内蔵スピーカー、ライン出力 (3.5mm) の間で選択します。

Audio Output Settings

Analog、SPDIF、eARC の中からオーディオ出力形式を選択します。

注: eARC は、Dolby ATMOS をサポートする Dolby ATMOS サウンドバーまたは AVR への Dolby ATMOS パススルーをサポートします。

リセット

オーディオ設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

コントロールメニュー

コントロールメニューは、プロジェクターが他のプロジェクターまたは制御デバイスと通信できるようにする設定を構成するために使用されます。

サブメニュー

- デバイスID
- LAN
- コントロール

補足情報

- Webコントロールパネルの使用
- TelnetによるRS232コマンドの使用

デバイスID

ID 定義をメニュー (0~99まで) で設定できます。ユーザーは RS232 コマンドを使って、個別のプロジェクターをコントロールできるようになります。

注: RS232 コマンドの完全な一覧については、当社の Web サイトの RS232 ユーザーマニュアルを参照してください。

LAN

プロジェクターのネットワーク設定を行います。

ネットワーク情報

ネットワーク接続状態を表示します。(読み取り専用)

MACアドレス

MAC アドレスを表示します。(読み取り専用)

DHCP

DHCP をオンにして、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS 1、DNS 2 を自動的に取得します。

IPアドレス

プロジェクターの IP アドレスを割り当てます。

サブネットマスク

プロジェクターのサブネットマスクを割り当てます。

ゲートウェイ

プロジェクターのゲートウェイを割り当てます。

DNS 1 / DNS 2

プロジェクターの DNS を割り当てます。

リセット

ネットワーク設定を工場出荷時デフォルト値にリセットします。

プロジェクターを使用する

コントロール

このプロジェクターは、有線ネットワーク接続を介してコンピューターまたはその他の外部デバイスからリモートで制御できます。ユーザーは、リモートコントロールセンターから1つまたは複数のプロジェクターを制御できます。たとえば、プロジェクターの電源のオン/オフ、画像の明るさやコントラストの調整などです。

コントロールサブメニューを使用して、プロジェクターのコントロールデバイスを選択します。

クレストロン

Crestron コントローラーと関連ソフトウェアを使用してプロジェクターを制御します。

詳細については、<http://www.crestron.com> にアクセスしてください。

エクストロン

Extron デバイスでプロジェクターを制御します。

詳細については、<http://www.extron.com> にアクセスしてください。

PJ Link

PJLink v2.0 コマンドでプロジェクターを制御します。

詳細については、<http://pjlink.jbmia.or.jp/english> にアクセスしてください。

AMX デバイス検出

AMX デバイスでプロジェクターを制御します。

詳細については、<http://www.amx.com> にアクセスしてください。

Telnet

Telnet 接続を介して RS232 コマンドを使用してプロジェクターを制御します。

詳細については、「[RS232 by Telnet] 機能」(62 ページ) を参照してください。

HTTP

Web ブラウザーでプロジェクターを制御します。(ポート: 8088)

詳細については、「Web ブラウザを使用してプロジェクタをコントロールする方法」(52 ページ) を参照してください。

コントロール 4

Control 4 コントローラーと関連ソフトウェアを使用してプロジェクターを制御します。(ポート: 53595)

コントロールポート

コントロール	クレストロン	ポート 41794
	エクストロン	ポート 2023
	PJ Link	ポート 4352
	AMX デバイス検出	ポート 9131
	Telnet	ポート 23
	HTTP	ポート 8088
	コントロール 4	ポート 53595

注:

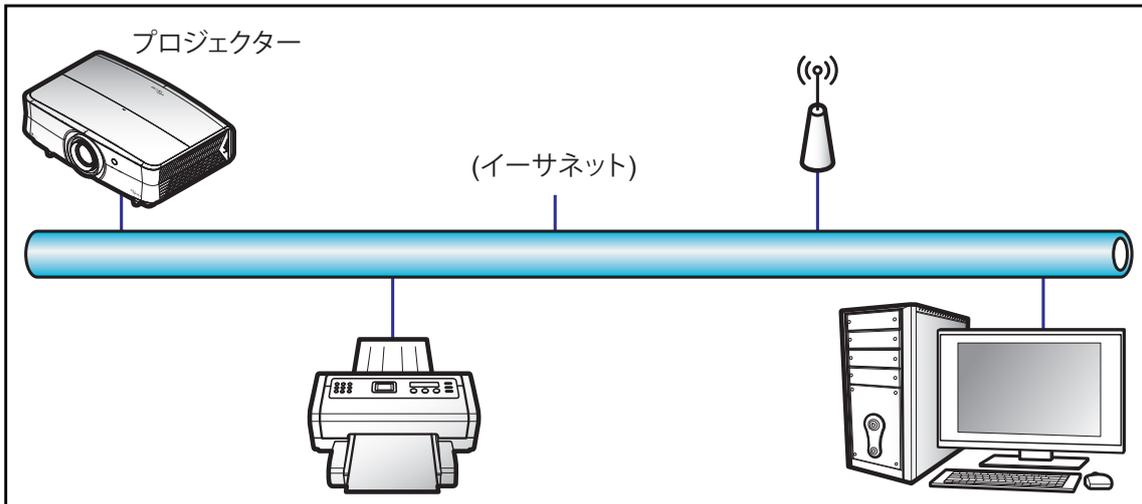
- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は JBMIA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。
- LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する情報については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

プロジェクターを使用する

ネットワーク制御のセットアップ

LAN RJ45 機能

操作を簡単にするために、プロジェクターは多様なネットワーク機能とリモート管理機能を備えています。プロジェクターの LAN/RJ45 機能では、ネットワークを介して電源のオン/オフ、明るさ設定、コントラスト設定などをリモート管理できます。また、ビデオソースや消音など、プロジェクターステータス情報も表示できます。



有線 LAN 端末機能

このプロジェクターは PC (ラップトップ) またはその他の外部デバイスを利用し、LAN/RJ45 ポートと互換性のある Crestron / Extron / AMX (デバイス検出) / PJLink を介して制御できます。

- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は JBMIA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。

このプロジェクターは Crestron Electronics コントローラーと関連ソフトウェア、たとえば、RoomView® の指定のコマンドに対応しています。

<http://www.crestron.com/>

このプロジェクターは Extron デバイスに対応しているのでご参照ください。

<http://www.extron.com/>

このプロジェクターは AMX (デバイス検出) に対応しています。

<http://www.amx.com/>

このプロジェクターは、PJLink Class 2 のすべてのコマンドをサポートしています。

<http://pjlink.jbmia.or.jp/english/>

LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する詳細については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

プロジェクターを使用する

Web ブラウザを使用してプロジェクタをコントロールする方法

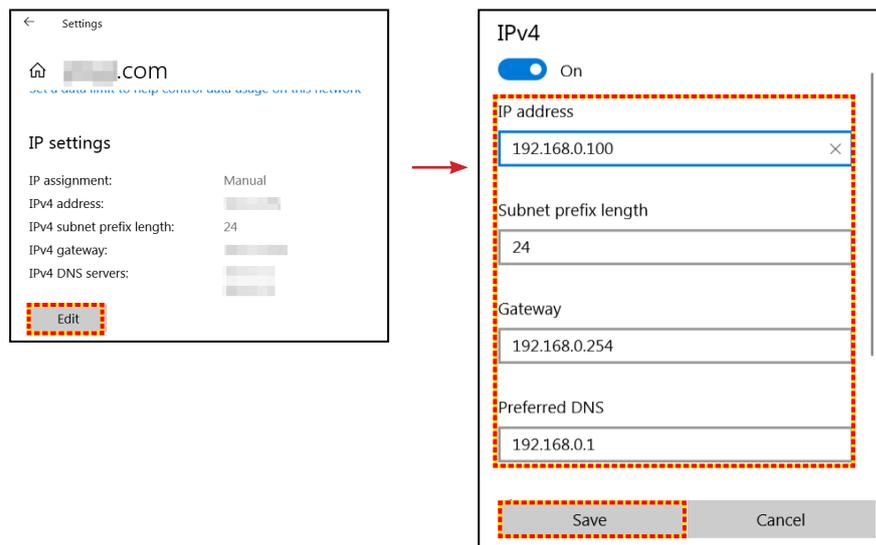
1. DHCP サーバーが IP アドレスを自動的に割り当てられるよう、プロジェクタの DHCP オプションを [オン] にします。
2. PC で Web ブラウザーを開き、プロジェクターの IP アドレスを入力します ([コントロール > LAN > IPアドレス])。
3. ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
プロジェクターの構成 Web インターフェイスが開きます。

注:

- 既定のユーザー名は「admin」です。
- このセクションの手順は Windows 10 オペレーティングシステムに基づいています。

コンピュータからプロジェクタに直接接続しているとき*

1. プロジェクターの DHCP オプションを [オフ] にします。
2. プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を構成します ([コントロール > LAN])。
3. PC の [ネットワークとインターネット] ページを開き、プロジェクターに設定されている値と同一のネットワークパラメーターを PC に割り当てます。[OK] をクリックしてパラメーターを保存します。



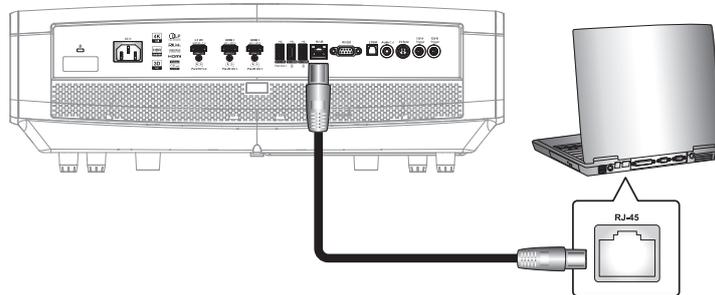
4. PC で Web ブラウザを開き、手順 3 で割り当てた IP アドレスとポートを URL フィールドに入力します。[Enter] キーを押します。

注: ポートテーブルについては、51 ページを参照してください。

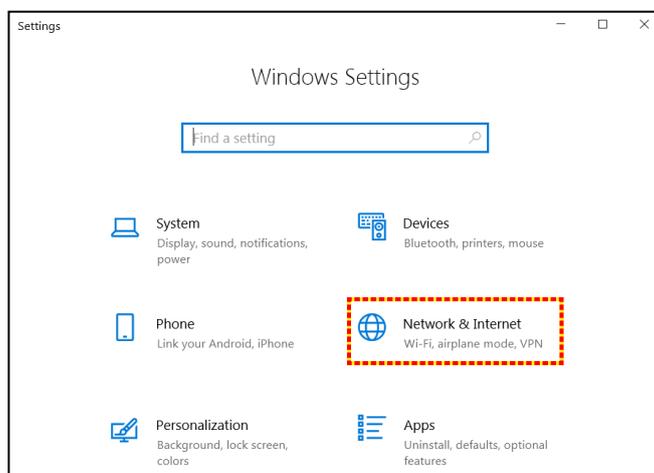
プロジェクターを使用する

LAN RJ45

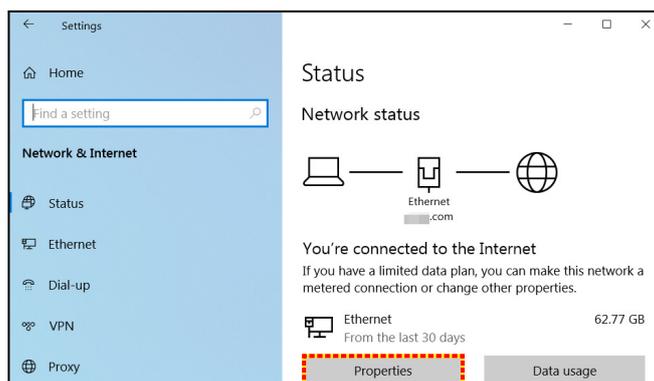
1. プロジェクターと PC (ラップトップ) の RJ45 ポートに RJ45 ケーブルを接続します。



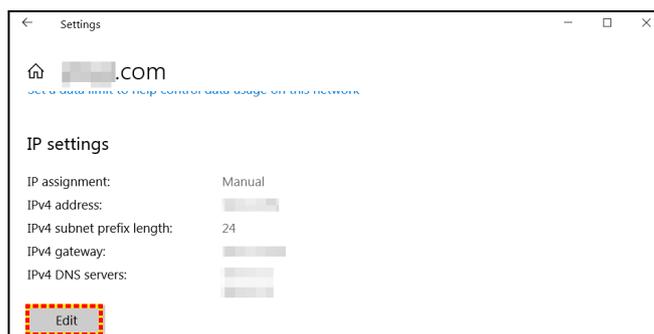
2. PC (ラップトップ) で、[スタート] > [設定] > [ネットワークとインターネット] を選択します。



3. [イーサネット] セクションで、[プロパティ] を選択します。

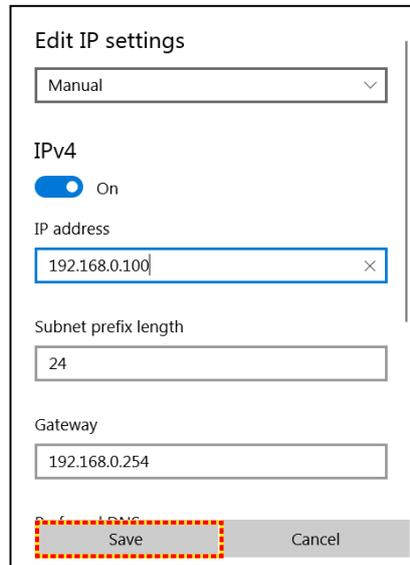


4. [IP 設定] セクションで、[編集] を選択します。



プロジェクターを使用する

5. IP アドレスとゲートウェイを入力し、[保存] を選択します。



Edit IP settings

Manual

IPv4

On

IP address

192.168.0.100

Subnet prefix length

24

Gateway

192.168.0.254

Save Cancel

6. プロジェクターの [メニュー] ボタンを押します。
7. プロジェクターで **コントロール > LAN** の順に開きます。
8. 次の接続パラメーターを入力します。
 - DHCP: オフ
 - IPアドレス: 192.168.0.100
 - サブネットマスク: 255.255.255.0
 - ゲートウェイ: 192.168.0.254
 - DNS: 192.168.0.51
9. [Enter] を押し、設定を確定します。
10. Adobe Flash Player 9.0 以降がインストールされた Microsoft Edge または Chrome などの Web ブラウザーを開きます。
11. アドレス バーに、プロジェクターの IP アドレスとポートを入力します: 192.168.0.100 : 8088。



192.168.0.100:8088

12. [Enter] を押します。

プロジェクターを使用する

このプロジェクターはリモート管理できます。LAN/RJ45 機能に次のように表示されます。

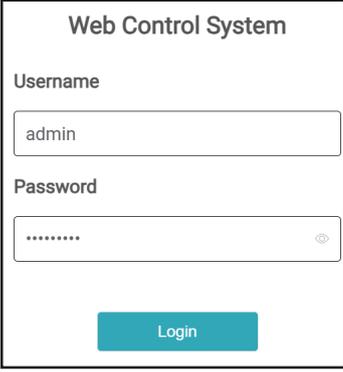
ログイン

初めて Web ページを開くと、以下のような画面が表示されます。
デフォルトのパスワードを変更してください。



The image shows a web interface for changing a password. At the top, it says "Change Password" in bold. Below that, it says "Please change the default password and login again." There are two input fields: "New Password" and "Confirm New Password". The "New Password" field has a red error message below it that says "Password cannot be empty." At the bottom, there is a teal "Save" button.

デフォルトのパスワードを変更した後は、再度ログインする必要があります。Web ページを開いたら、「パスワード」フィールドに新しいパスワードを入力し、**[ログイン]** をクリックします。



The image shows a login screen for a "Web Control System". It has a title "Web Control System" at the top. Below the title, there are two input fields: "Username" and "Password". The "Username" field contains the text "admin". The "Password" field contains a series of dots and a small eye icon to the right. At the bottom, there is a teal "Login" button.

プロジェクターを使用する

Administrator

ここで設定したプロジェクター名は PJLink 制御でも使用されます。プロジェクター名として使用できるのは英数字のみです。最大文字数は 32 文字です。

パスワードには英数字のみを使用できます。最小文字数は 8 文字です。無効な文字を入力すると、「無効な文字です」という警告が表示されます。

新しいパスワードの文字と確認 (新しい) パスワードの文字が一致しない場合、エラーメッセージが表示されます。この場合は、パスワードを再入力してください。

The screenshot shows the Administrator interface with a dark sidebar on the left containing menu items: Administrator, Projector Control, Alert Setup, Network Setup, Information, Crestron V2, and Logout. The main content area is divided into two panels. The left panel, titled 'Projector Information', contains two text input fields: 'Projector Name' with the value 'VDUH2LBLV' and 'Projector ID' with the value '0'. A blue 'Save' button is positioned below these fields. The right panel, titled 'Change Password', contains three text input fields: 'Old Password', 'New Password', and 'Confirm New Password', each with a placeholder 'please input...'. A blue 'Save' button is located at the bottom right of this panel.

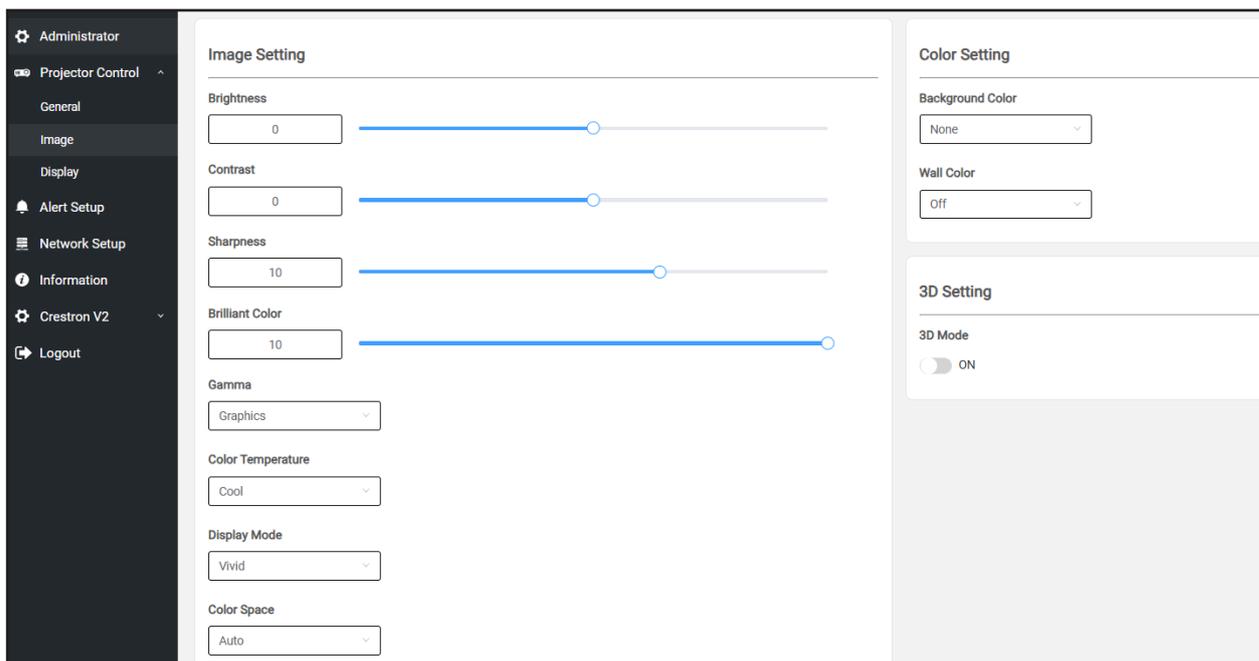
プロジェクター制御

この項目でプロジェクターを制御できます。ここでは、制御する項目について説明します。

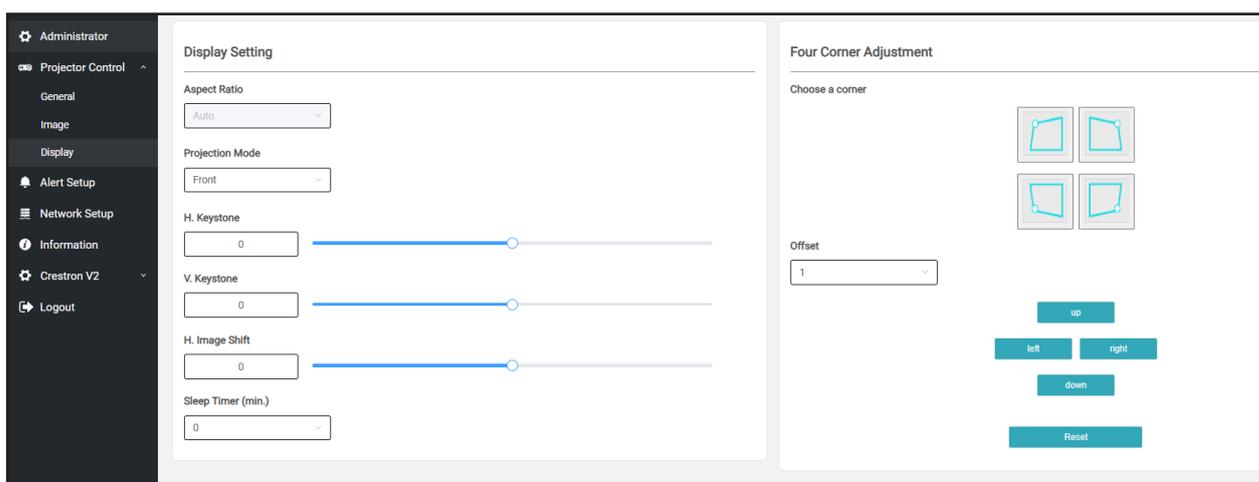
The screenshot shows the Administrator interface with the same dark sidebar. The main content area is divided into two panels. The left panel, titled 'General Control', contains several controls: a 'Power' toggle switch set to 'ON', a 'Resync' button with a blue bar, a 'Reset OSD' button with a blue bar, 'AV Mute' (OFF), 'Freeze' (OFF), 'High Altitude' (OFF), 'Direct Power On' (OFF), a 'Source' dropdown menu set to 'Home', and two '12V Trigger' (A and B) toggle switches, all set to 'OFF'. The right panel, titled 'Volume Setting', contains a 'Mute' toggle switch set to 'OFF', a 'Volume' slider set to 5, and a 'Power Setting' section with a 'Power Mode' dropdown set to 'Eco.' and a 'Brightness Mode' dropdown set to 'Power 100%'.

[全般]

プロジェクターを使用する



[画像]



[ディスプレイ]

プロジェクターを使用する

アラート設定

エラーが発生したときにメールアラートを送信できます。このセクションでは、アラートメールの設定を行うことができます。

1. アラートの種類: アラートメールを送信するエラーの種類にチェックを入れます。
2. アラートメール通知: 次の設定を確認して実行します。
 - SMTP 設定: 以下を設定します。
 - a) SMTP サーバー: サーバーアドレス (サーバー名) (SMTP サーバー)
 - b) ポート: SMTP セキュアポート。例25、465、587、2525
 - c) ユーザー名: メールサーバーのユーザー名
 - d) パスワード: メールサーバーのパスワード
 - e) 差出人: 送信者のメールアドレス
 - メール設定: 以下を設定します。
 - a) メールの件名
 - b) メールの内容
 - c) 宛先: 送信者のメールアドレスを入力します。
3. 「保存」をクリックして値を固定します。
4. テストメールを送信します。

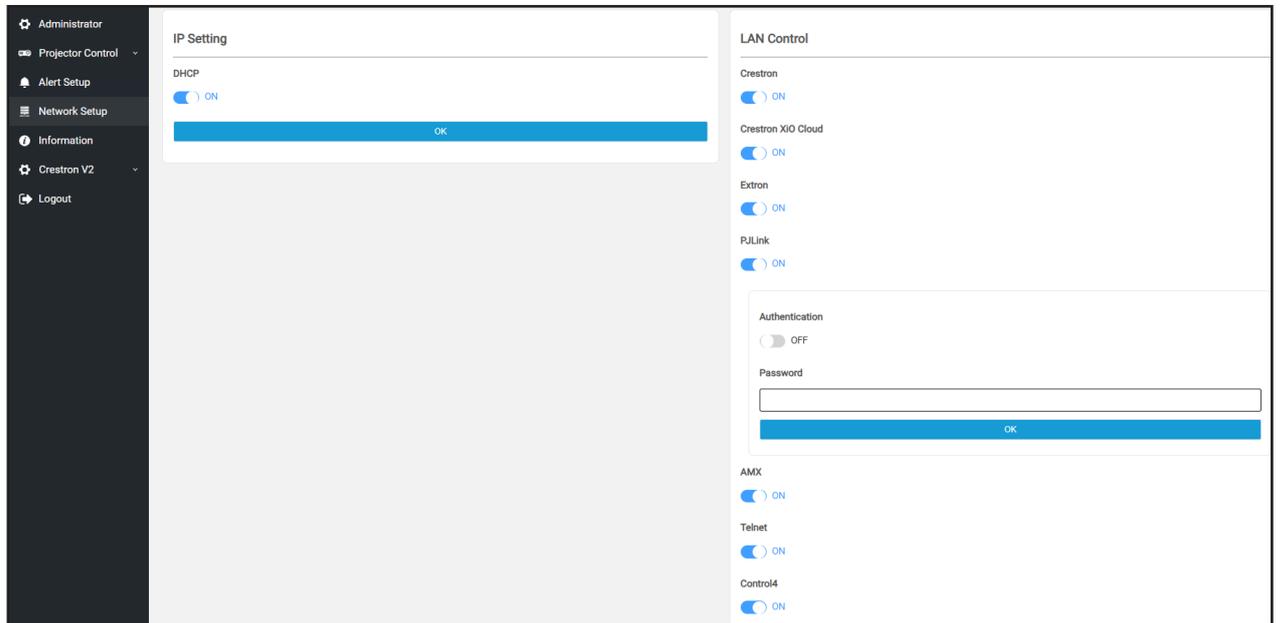
[テストメール送信] をクリックすると、テストメールが送信されます。テキストは「Email Test xxx.xxx.xxx.xxx *」になります。

The screenshot shows the 'Alert Setup' configuration page. On the left is a navigation menu with 'Alert Setup' selected. The main content area is split into three panels. The top panel, 'Alert Setting', contains a toggle for 'Alert Mail Notification' set to 'OFF'. The middle panel, 'Email Setting', has a 'Mail Subject' field with 'Alert from projector system', a 'Mail Content' text area with a pre-filled message, and a 'To' field with a hyphen. Below the 'To' field is a note: 'Use *, * to separate multiple Email recipients'. At the bottom of this panel are 'Save' and 'Send Test Mail' buttons. The right panel, 'Alert Type', has three toggle switches for 'Fan Error', 'LightSource Error', and 'High Temp Warning', all set to 'OFF'.

プロジェクターを使用する

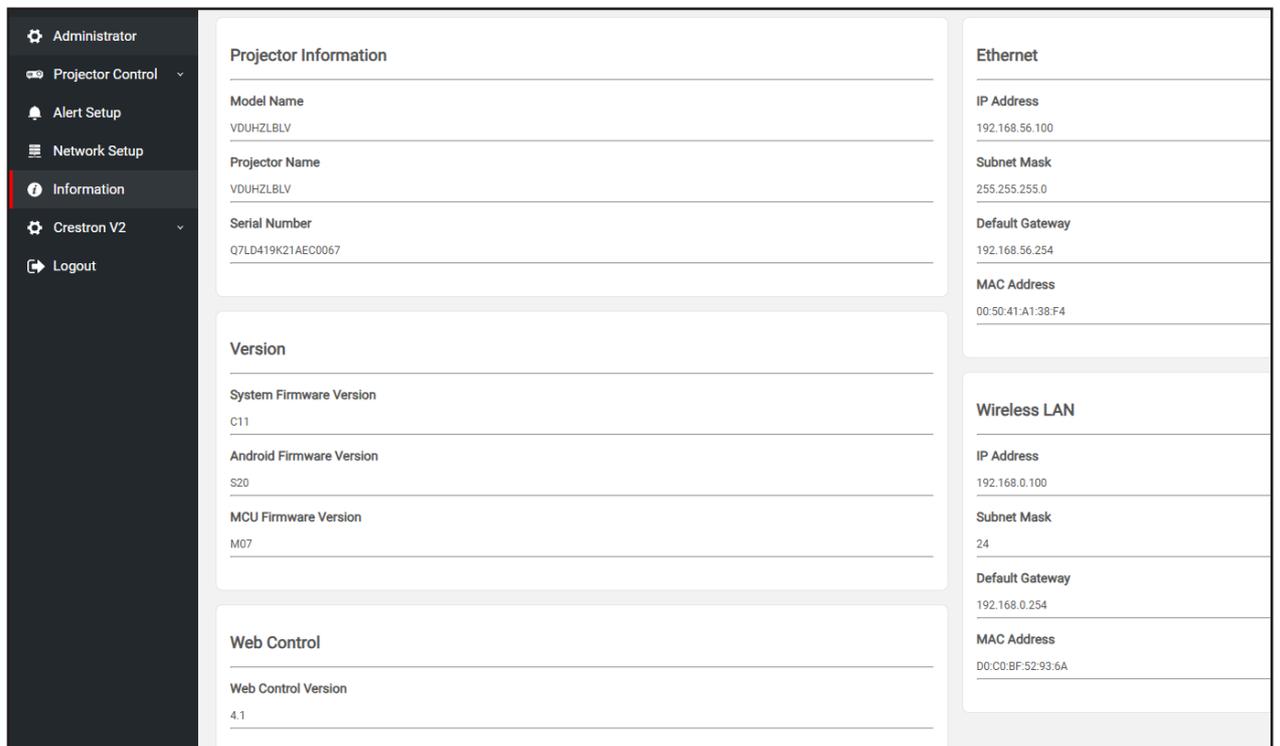
ネットワーク設定

プロジェクターのネットワークを設定します。



情報

プロジェクターの現在のステータスが表示されます。プロジェクターのモデル名、ファームウェアバージョン、Web コントロールバージョン、現在のネットワーク構成を確認できます。



プロジェクターを使用する

Crestron V2

接続ステータスを表示し、Crestron 関連の設定を構成します。

The screenshot displays the Crestron V2 configuration page. On the left is a dark sidebar with navigation options: Administrator, Projector Control, Alert Setup, Network Setup, Information, Crestron V2 (expanded), Configuration, Certificate Upload, and Logout. The main content area is split into two panels. The left panel, titled 'XIO Cloud', shows a 'Connection Status' section with a red heart icon and the text 'XIO Cloud'. The right panel, titled 'Crestron V2', shows a 'Connection Status' section with a red heart icon and the text 'Control System'. Below this is an 'Interface' dropdown menu set to 'Control System'. The 'Secure' section has a toggle switch set to 'OFF'. The 'Auto Discovery' section also has a toggle switch set to 'OFF'. The 'IP Address' field contains the placeholder text 'please input...'. The 'IP ID' field contains the number '2'. The 'Port' field contains the number '41794'. A blue 'Connect' button is located at the bottom right of the Crestron V2 panel.

[構成]

The screenshot displays the Crestron V2 configuration page for certificate management. The sidebar is identical to the previous screenshot. The main content area is split into two panels. The left panel, titled 'Control System & VC4', has a 'Choose File' section with 'Select', 'Upload', and 'Clear' buttons. Below this is a blue bar with the text 'Delete all certificates'. The right panel, titled 'Fusion', also has a 'Choose File' section with 'Select', 'Upload', and 'Clear' buttons. Below this is a blue bar with the text 'Delete all certificates'.

[証明書のアップロード]

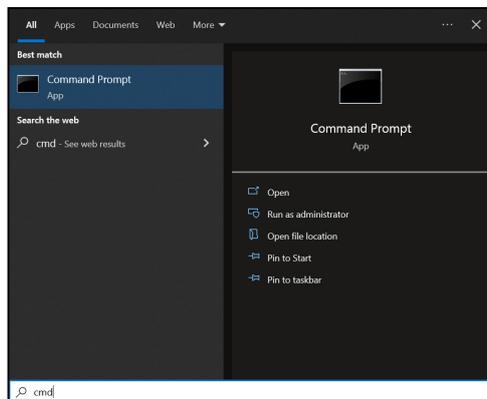
プロジェクターを使用する

[RS232 by Telnet] 機能

制御の代替方法として、このプロジェクターには、LAN/RJ45 インターフェイス用の TELNET による RS232 コマンド制御があります。

[RS232 by Telnet] のクイックスタートガイド

- プロジェクターの OSD で IP アドレスを確認します。
 - PC/ラップトップがプロジェクターの Web ページにアクセスできることを確認します。
 - PC/ラップトップが [TELNET] 機能を拒否する場合、[Windows ファイアウォール] 設定が無効になっていることを確認します。
1. **[検索]**  をクリックし、検索語として「cmd」と入力します。「Enter」キーを押します。



2. コマンドプロンプトアプリを開きます。
3. コマンドを次の形式で入力します。
 - `telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23` ([Enter] キーを押す)
 - (`ttt.xxx.yyy.zzz`: プロジェクターの IP アドレス)
4. Telnet 接続の準備ができており、ユーザーが RS232 コマンドを入力できる場合は、「Enter」キーを押すと、Telnet 接続で RS232 コマンド制御の準備が整います。

[RS232 by TELNET] の仕様:

1. Telnet: TCP。
2. Telnet ポート: 23 (詳細については、Optoma サービスチームにお問い合わせください)。
3. Telnet ユーティリティ: Windows [TELNET.exe] (コンソールモード)。
4. Telnet セッションを終了するには、コマンドプロンプトアプリウィンドウを閉じます。
5. TELNET 接続準備完了直後の Windows Telnet ユーティリティ。
 - *Telnet 制御の制限 1: Telnet-Control アプリケーションの連続するネットワークペイロードは 50 バイトを超えることはできません。*
 - *Telnet 制御の制限 2: Telnet-Control の連続する RS232 コマンドは、26 バイトを超えることはできません。*
 - *Telnet 制御の制限 3: 次のコマンドの最小遅延は 200 (ミリ秒) を超えている必要があります。*

リセット

コントロール設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

情報メニュー

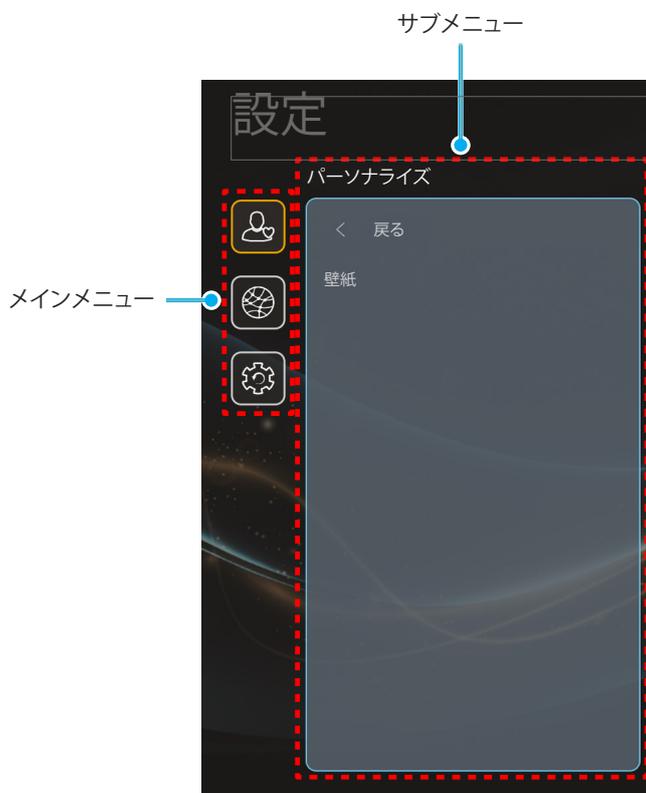
プロジェクターのステータスと設定に関する情報を表示します。プロジェクター情報は読み取り専用です。

- 制御
- シリアル番号
- ソース情報
- ピクチャモード
- カラー情報
- 電源モード(スタンバイ)
- Light Source Hours
- 輝度モード
- デバイスID
- IPアドレス
- ネットワーク情報
- MACアドレス
- Bluetooth リモート Status
- FWバージョン

プロジェクターを使用する

システム設定

ランチャー画面で、設定メニュー (⚙️) を選択し、さまざまなシステム設定を構成してください。



設定メニューツリー

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値	
パーソナライズ	壁紙	Optoma スタイル…			
ネットワーク	Wireless	Wi-Fi		オフ	
				オン [デフォルト]	
		Available Networks SSID (Wi-Fi がオンであるとき)	[Wi-Fi name]の パスワードを入力する (パスワードを入力する とき)		[ポップアップダイアログ] - タイトル:パスワードの入力 [Wi-Fi 名] - 字幕: パスワード - 入力:(テキストの入力) - チェックボックス: パスワードを表示します。 - ボタン:[キャンセル]/[OK]
			インターネット接続		
			IPアドレス		
			MACアドレス		
			サブネットマスク		
			ゲートウェイ		
			DNS 1		
DNS 2					
		信号強度			

プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値		
ネットワーク	Wireless	Available Networks SSID (Wi-Fi がオンであるとき)	なし			
			プロキシ設定	Manual [ポップアップダイアログ] タイトル: 有効なホスト名を入力してください。 字幕: プロキシ ホスト名 入力ヒント: proxy.example@com ボタン:[キャンセル]/[OK]		
			IP 設定	DHCP		
				静的 [ポップアップダイアログ] タイトル: 有効な IP アドレスを入力してください。 字幕: IPアドレス 入力ヒント:192.168.1.128 ボタン:[キャンセル]/[OK]		
			キャンセル			
			Forget	[ポップアップダイアログ] ヒント:[Wi-Fi 名] タイトル: ネットワーク情報の消去 コンテンツ: デバイスはこの Wi-Fi ネットワーク に接続していません。 ボタン:[キャンセル]/[OK]		
		その他のオプション	新しいネットワーク を追加	[ポップアップダイアログ] タイトル: Wi-Fiネットワークの名前を入力する 入力:(テキストの入力) ボタン:[キャンセル]/[OK]		
				[ポップアップダイアログ] コンテンツ: セキュリティの種類 ボタン:なし、WEP、WPA/WPA2 PSK、802.1xEAP		
			ポータブル ホットス ポット	ポータブル Wi-Fi ホットスポット	オン オフ	
				ネットワーク名	[ポップアップダイアログ] タイトル: ネットワーク名の変更 入力:(テキストの入力) ボタン:[キャンセル]/[OK]	
				セキュリティ	[ポップアップダイアログ] タイトル: セキュリティの種類 ボタン:なし、WPA2 PSK	
				パスワード	[ポップアップダイアログ] タイトル: パスワードの変更 入力:(テキストの入力) 説明:パスワードは少な くとも 8 文字にしてくだ さい。 チェックボックス: パスワードを表示します。 ボタン:[キャンセル]/[OK]	

プロジェクトターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値	
System	Display Share				
	File Manager				
	キーボード	Current keyboard			
			Other Keyboard	オン オフ [デフォルト]	
		Manage keyboards	Kika キーボード	オン [デフォルト] オフ	
	日付および時刻	タイムゾーンを選択			-12:00、-11:00、-10:00、-09:30、-09:00、-08:00、 -07:00、-06:00、-05:00、-04:00、-03:30、-03:00、 -02:00、-01:00、00:00、+01:00、+02:00、+03:00、 +03:30、+04:00、+04:30、+05:00、+05:30、 +05:45、+06:00、+06:30、+07:00、+08:00、 +08:30、+8:45、+09:00、+09:30、+10:00、 +10:30、+11:00、+12:00、+12:45、+13:00、 +14:00
		夏時間			オン オフ [デフォルト]
		24時間表示を使用する			オン オフ [デフォルト]
		システム更新			
	法的	利用規約			
		プライバシーポリシー			
		クッキーに関するポリシー			
		オープンソースライセンス			

注:

- 機能は、モデル定義により異なります。
- 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

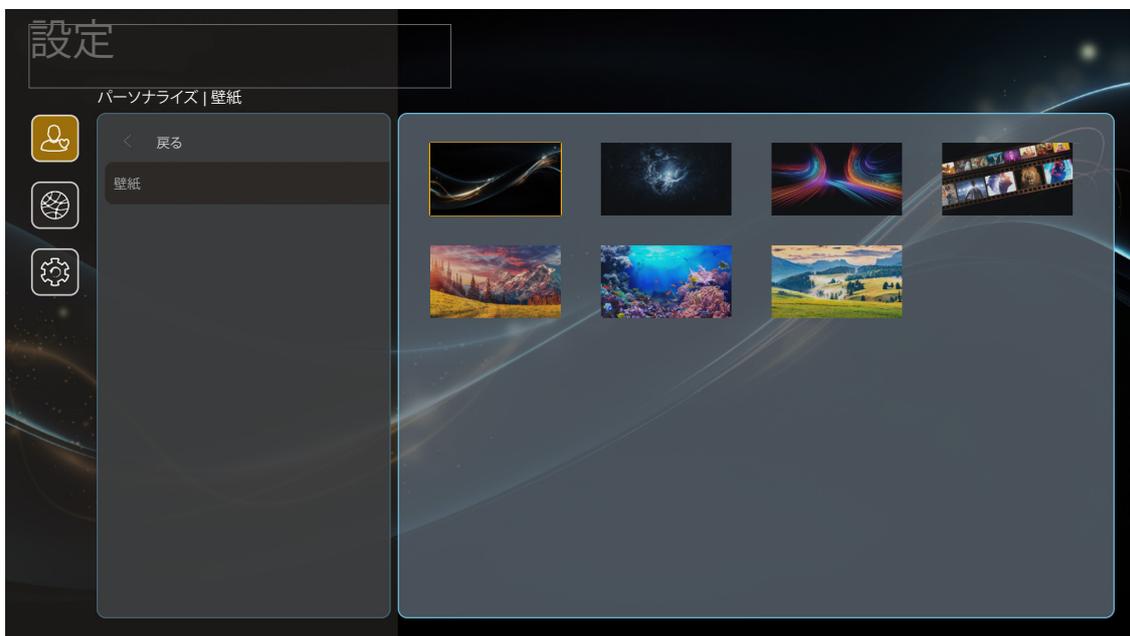
プロジェクターを使用する

メニューのパーソナライズ



壁紙

ホーム画面の壁紙を設定します。



プロジェクターを使用する

ネットワークメニュー



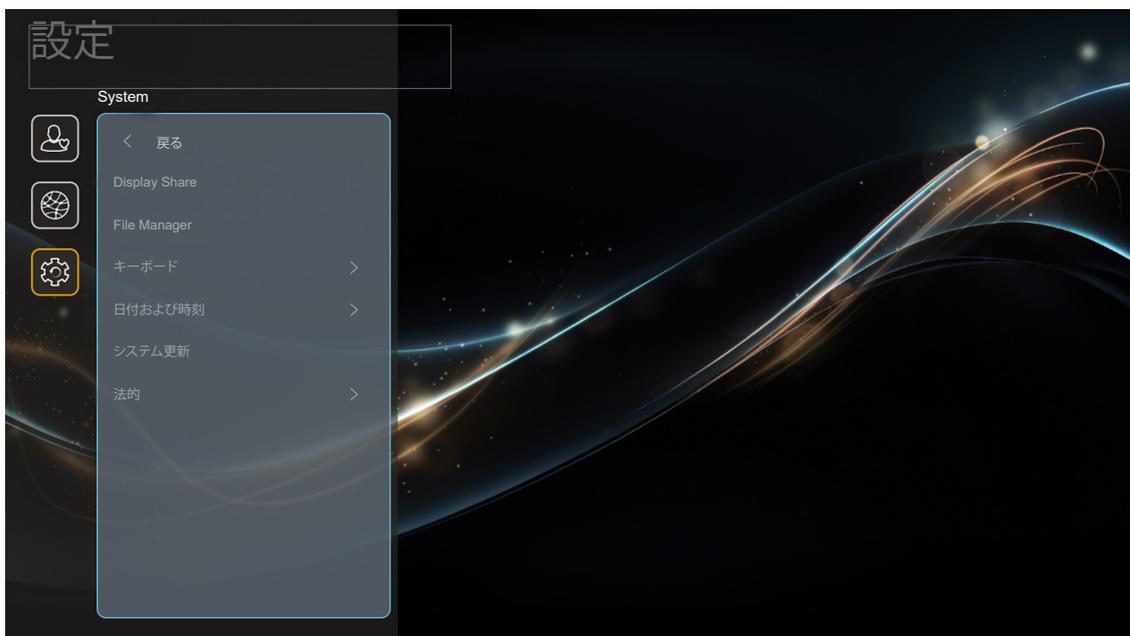
Wireless

ワイヤレスネットワーク設定を構成します。

- **Wi-Fi:** Wi-Fi オプションを「オン」に設定して、ワイヤレスネットワーク機能を無効にします。
- **Available Networks SSID:** 目的のワイヤレスアクセスポイントを選択し、例えば、パスワード、プロキシ設定、IP アドレスなどの必要な接続パラメータを入力または構成してください (必要に応じて)。情報に基づいて、信号強度を確認できます。
設定を保存せず、ネットワークメニューに戻るには、「キャンセル」を選択してください。ワイヤレスネットワークプロファイルを削除するには、「Forget」を選択してください。
注: 記号の入力が必要な場合、システムは、オンスクリーンキーボードを自動的にポップアップ表示します。
- **その他のオプション:** 「新しいネットワークを追加」(ネットワーク名を手動で入力します)、「ポータブル ホットスポット」(他のデバイスに対するワイヤレスアクセスポイントとして動作するように、プロジェクターを構成します) などの詳細ワイヤレスネットワーク設定を構成します。

プロジェクターを使用する

システムメニュー



Display Share

Display Share アプリを起動します。71 ページ を参照してください。

File Manager

File Manager アプリを起動します。72 ページ を参照してください。

キーボード

キーボードを選択して管理します。

日付および時刻

日時設定を構成してください。

- **タイムゾーンを選択:** タイムゾーンを選択してください。
- **夏時間:** お住まいの地域で夏時間が採用されている場合は、「オン」に設定してください。
- **24時間表示を使用する:** 24 時間フォーマットで時刻を表示する場合は、「オン」に設定してください。12 時間フォーマット (AM/PM) で時刻を表示する場合は、「オフ」に設定してください。

システム更新

プロジェクターがインターネット (OTA) に接続されるとき、システムは、更新を自動的に検索します。

法的

「利用規約」、「プライバシーポリシー」、「クッキーに関するポリシー」、「オープンソースライセンス」を含む法的文書を確認してください。

注: オンラインでも法的文書を確認できます。次の Web アドレスを参照してください:

- **利用規約:** <https://www.optoma.com/terms-conditions/>。
- **クッキーに関するポリシー:** <https://www.optoma.com/cookies-policy/>。
- **プライバシーポリシー:** <https://www.optoma.com/software-privacy-policy/>。

プロジェクトターを使用する

入力ソースを手動で選択する

自動ソース機能がオフになっていて、希望の入力ソースがホーム画面に表示されない場合は、ホーム画面で**入力ソース** (🗨) を選択するか、リモコンの 🗨 ボタンを押して、希望の入力ソースを選択します。

アプリの選択

インストールされているすべてのアプリを表示するには、**設定** メニュー (⚙️) を選択します。次に、目的のアプリ (**Display Share** または **File Manager**) を選択します。



プロジェクターを使用する

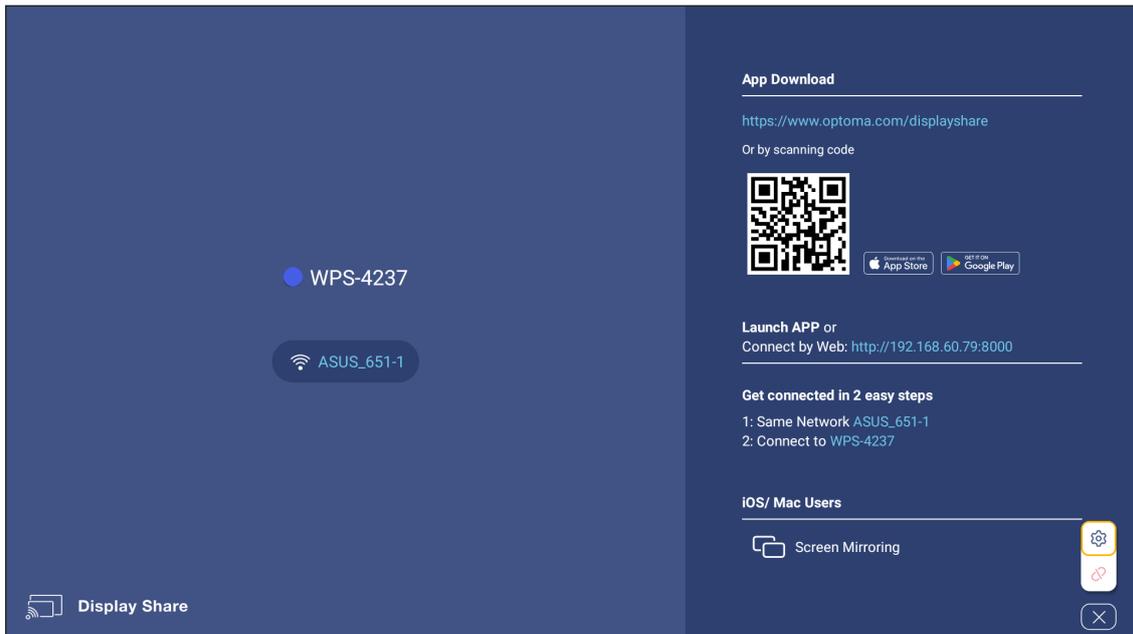
Display Share

アプリを入手するには、次のいずれかを実行してください:

- モバイルデバイスを使用している場合は、画面上の QR コードをスキャンしてください。
- コンピューターを使用している場合は、リンクにアクセスしてください。

次に、コンピューターまたはモバイルデバイスに Display Share アプリをインストールします。

開始する前に、コンピューターまたはモバイルデバイスをプロジェクターと同じ Wi-Fi に接続してください。次に、画面の指示に従ってアプリを操作してください。

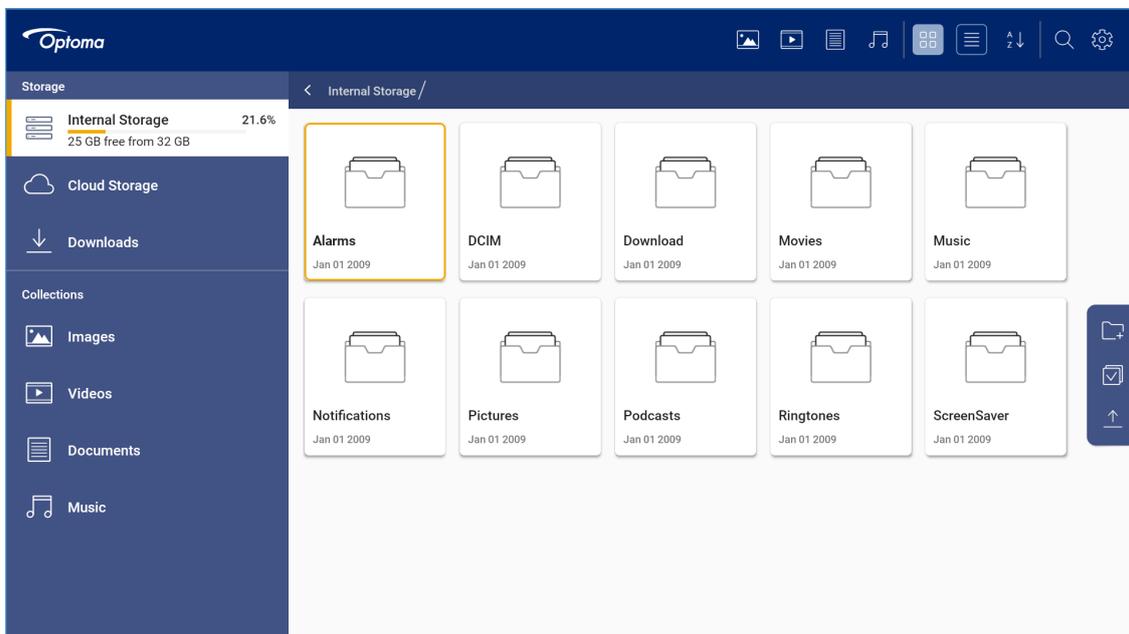


注: iOS 画面ミラーリング機能を最初にアクティブ化するには、プロジェクターがインターネットに接続されていることを確認してから、Display Share アプリを起動してください。この初期手順を実行する必要があるのは 1 回だけです。初期接続が確立された後は、iOS 画面ミラーリング機能を後で使用するために Display Share アプリを開く必要はありません。

プロジェクトを使用する

File Manager

File Manager アプリを使用すると、内部ストレージ、外部ストレージ、クラウドストレージに保存されているファイルを管理することができます。



追加情報

対応解像度

HDMI 入力信号

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)	Mac に関する注記
VGA	640x480	60/67/72/75	Mac 60/75
	720x400	70	
SVGA	800x600	56/60/72/75	Mac 60/75
	832x624	75	Mac 75
XGA	1024x768	60/70/75/120	Mac 60/70/75
SDTV(480P)	720x480	60	
SDTV(576P)	720x576	50	
HDTV(720P)	1280x720	60/120	Mac 60
WXGA	1280x800	60	Mac 60
	1440x900	60	
WXGA	1366x768	60	
SXGA	1280x1024	60/75	Mac 60/75
	1440x900	60	
SXGA+	1400x1050	60	
UXGA	1600x1200	60	
HDTV(1080i)	1920x1080	60	
HDTV(1080p)	1920x1080	24/50/60/120/240	Mac 60
WQHD	2560x1440	120	
UHD(2160p)	3840x2160	24/30/50/60/120	
	4096x2160	24/50/60/120	

3D サポートタイミング

HDMI1.4a 3D タイミング (Blue-Ray 3D の場合)

信号	タイミング
720p (フレームパッキング)	1280x720@50Hz
720p (フレームパッキング)	1280x720@60Hz
1080p (フレームパッキング)	1920x1080@23.98/24Hz
720p (トップアンドボトム)	1280x720@50Hz
720p (トップアンドボトム)	1280x720@60Hz
1080p (トップアンドボトム)	1920x1080@23.98/24Hz
1080i (サイドバイサイド (ハーフ))	1920x1080@50(25)Hz
1080i (サイドバイサイド (ハーフ))	1920x1080@60(30)Hz

PC 3D タイミング

信号	タイミング
フレームシーケンシャル	1920x1080@120Hz
	1280x720@120Hz
	1024x768@120Hz

追加情報

EDID (Digital)

B0/確立タイミング			B0/標準タイミング			B0/詳細タイミング	
解像度	垂直 [Hz]	水平 [KHz]	解像度	垂直 [Hz]	比率	解像度	垂直 [Hz]
720x400	70.0	31.5	1024x768	120.0	04:03	3840x2160	60.0
640x480	60.0	31.5	1280x720	60.0	16:09		
640x480	66.6(67)	34.9	1280x720	120.0	16:09		
640x480	72.0	37.9	1280x800	60.0	16:10		
640x480	75.0	37.5	1280x1024	60.0	05:04		
800x600	56.0	35.1	1440x900	60.0	16:10		
800x600	60.0	37.9	1400x1050	60.0	04:03		
800x600	72.0	48.1	1600x1200	60.0	04:03		
800x600	75.0	46.9					
832x624	75.0	48.9					
1024x768	60.0	48.4					
1024x768	70.0	56.5					
1024x768	75.0	60.0					
1280x1024	75.0	80.0					
1152x870	75.0	67.5					

B1/ビデオモード		B1/詳細タイミング		
解像度	垂直 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]	Normal
640x480p 4:3	60.0	1920x1080	240.00	V
720x480p 16:9	60.0	2560x1440	120.00	V
1280x720p 16:9	60.0			
1920x1080i 16:9	60.0			
1920x1080p 16:9	60.0			
720x576p 16:9	50.0			
1280x720p 16:9	50.0			
1920x1080i 16:9	50.0			
1920x1080p 16:9	50.0			
1920x1080p 16:9	24.0			
1920x1080p 16:9	120.0			
2560 x 1080p 64:27	50.0			
2560 x 1080p 64:27	60.0			
3840 x 2160p 16:9	24.0			
3840 x 2160p 16:9	30.0			
3840 x 2160p 16:9	50.0			
3840 x 2160p 16:9	60.0			
4096 x 2160p 256:135	24.0			
4096 x 2160p 256:135	60.0			
3840x2160 16:9	120.0 * HDMI 2.1 のみ			
4096x2160 256:135	120.0 * HDMI 2.1 のみ			

追加情報

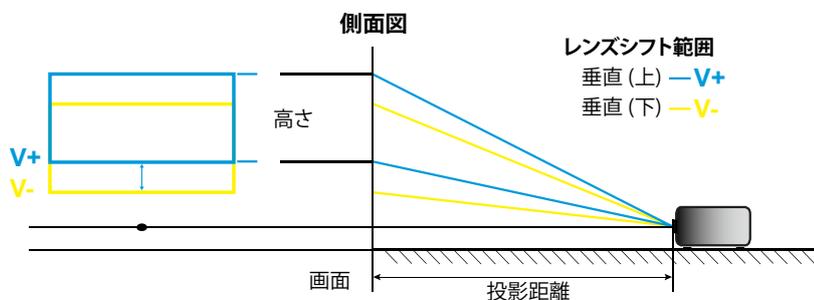
オーディオデータ			
フォーマット	eARC	SPDIF	LPCM
LPCM(IEC 60958 PCM[30、31])	✓	✓	✓
Dolby Digital(5.1)	✓	✓	
DTS	✓	✓	
Dolby Digital Plus(7.1)	✓		
DTS-HD			
Dolby TrueHD/MAT	✓		
ATMOS Passthrough	✓		

追加情報

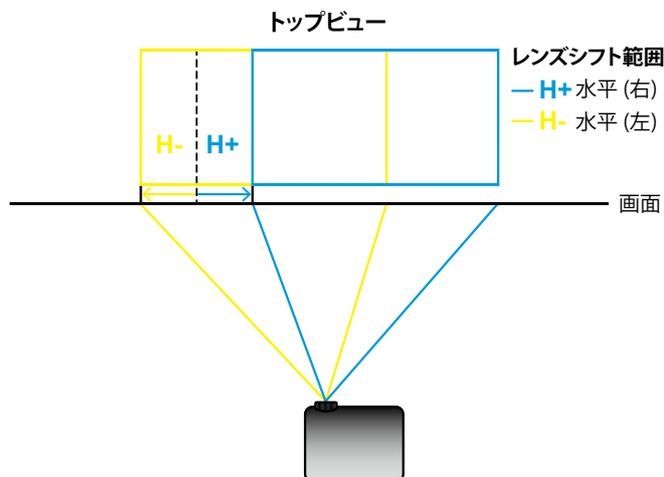
画像サイズと投影距離

(a) スクリーンサイズ		(b) 投影距離				(c) 画像高さ		(d) 垂直オフセット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
30.00	762	31.38	797	50.20	1275	14.71	374	2.35	60
40.00	1016	41.84	1063	66.94	1700	19.61	498	3.14	80
50.00	1270	52.29	1328	83.67	2125	24.51	623	3.92	100
60.00	1524	62.75	1594	100.41	2550	29.42	747	4.71	120
70.00	1778	73.21	1860	117.14	2975	34.32	872	5.49	139
80.00	2032	83.67	2125	133.87	3400	39.22	996	6.28	159
90.00	2286	94.13	2391	150.61	3825	44.12	1121	7.06	179
100.00	2540	104.59	2657	167.34	4250	49.03	1245	7.84	199
110.00	2794	115.05	2922	184.08	4676	53.93	1370	8.63	219
120.00	3048	125.51	3188	200.81	5101	58.83	1494	9.41	239
130.00	3302	135.97	3454	217.55	5526	63.73	1619	10.20	259
140.00	3556	146.42	3719	234.28	5951	68.64	1743	10.98	279
150.00	3810	156.88	3985	251.01	6376	73.54	1868	11.77	299
200.00	5080	209.18	5313	334.69	8501	98.05	2491	15.69	398
250.00	6350	261.47	6641	418.36	10626	122.57	3113	19.61	498
300.00	7620	313.77	7970	502.03	12751	147.08	3736	23.53	598

希望のイメージサイズ:



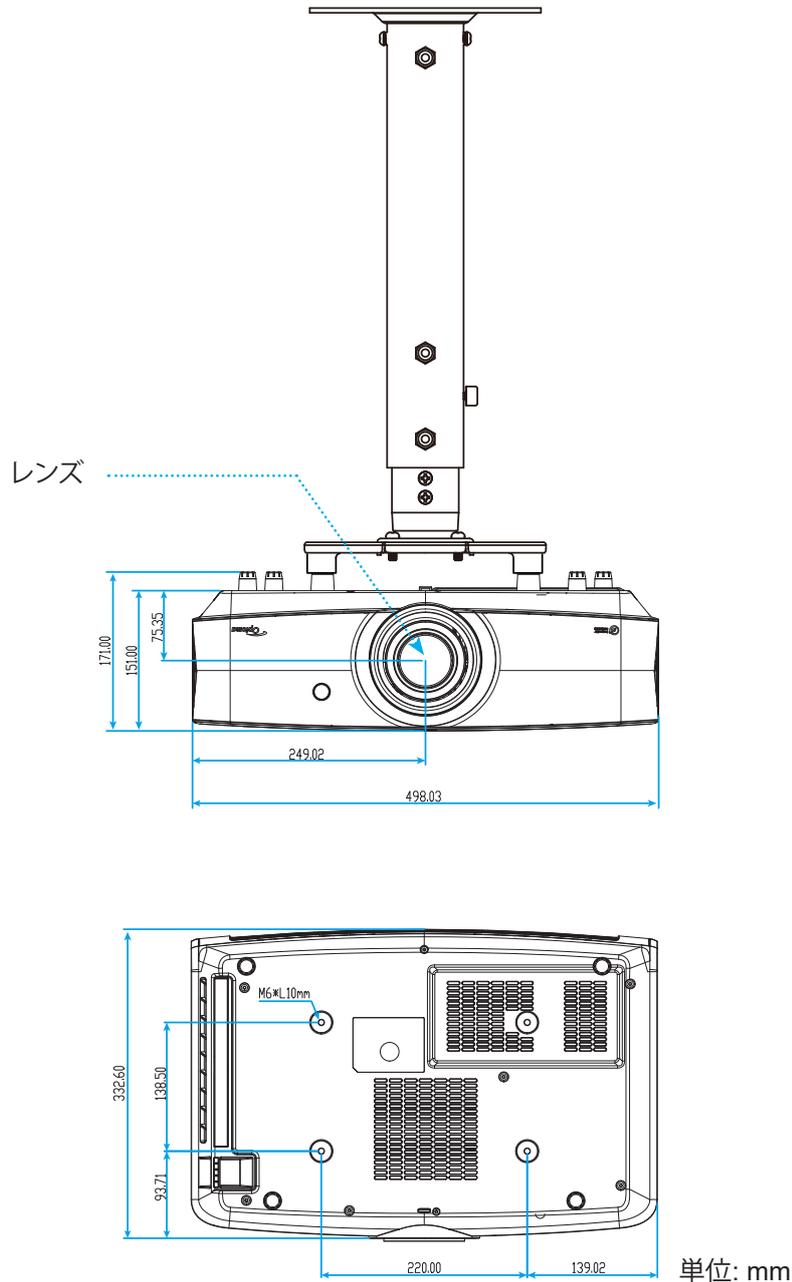
レンズシフト範囲:



追加情報

プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず、Optoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
 - ネジの種類: M6*10
 - 最小ネジ長: 10 mm



注: プロジェクターを正しく取り付けしていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。



警告:

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

追加情報

IR リモートコード



キー	キー番号	MTX.	フォーマット	データ0	データ1	データ2	データ3	説明	
電源オン/オフ		K12	04	F1	32	CD	71	8E	□□□□□□□□□□□□□□□□/□□□□ (24 □□□□) を参照してください。
ソース		K3	11	F1	32	CD	18	E7	を押して、入力信号を選択します。
ホーム		K13	03	F1	32	CD	92	6D	を押して、ホーム画面に戻ります。
メニュー		K8	17	F1	32	CD	0E	F1	を押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを起動します。OSD を終了するには、もう一度 を押します。
戻る		K4	10	F1	32	CD	86	79	を押して、前ページに戻ります。
上		K7	18	F2	32	CD	11	EE	▲▼◀▶ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
左		K14	02	F2	32	CD	10	EF	
右		K5	09	F2	32	CD	12	ED	
下		K2	19	F2	32	CD	14	EB	
入力	Enter	K9	16	F1	32	CD	0F	F0	選択した項目を確定します。
ミュート		K15	01	F1	32	CD	52	AD	を押して、プロジェクターの内蔵スピーカーのオフ/オンを切り替えます。
ディスプレイモード		K10	15	F1	32	CD	91	6E	を押して、ディスプレイモードメニューを表示します。ディスプレイモードメニューを終了するには、もう一度 を押します。
アプリメニュー		K6	08	F1	32	CD	25	DA	を押して、アプリメニューを開きます。
音量 -	-	K11	12	F2	32	CD	0C	F3	- を押して、音量を小さくします。
音量 +	+	K1	05	F2	32	CD	09	F6	+ を押して、音量を大きくします。

追加情報



キー	印刷キーの定義	キーコード				繰り返し
		バイト1	バイト2	バイト3	バイト4	
		カスタマー 0	カスタマー 1	データ 0	データ 1	
電源オン \odot	オン	32	CD	02	#バイト3	F2
電源オフ	オフ	32	CD	2E	#バイト3	F2
ジオメトリ補正	ジオメトリ補正	32	CD	96	#バイト3	F2
PIP/PBP	PIP/PBP	32	CD	78	#バイト3	F2
F1	F1	32	CD	26	#バイト3	F2
Home	F2/ホーム	32	CD	27	#バイト3	F2
モード	モード	32	CD	95	#バイト3	F2
4 方向選択キー ($\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$)	上矢印	32	CD	C6	#バイト3	F2
	下矢印	32	CD	C7	#バイト3	F2
	左矢印	32	CD	C8	#バイト3	F2
	右矢印	32	CD	C9	#バイト3	F2
決定	入力	32	CD	C5	#バイト3	F2
AV 消音	AV 消音	32	CD	03	#バイト3	F2
APP 設定	情報/APP メニュー	32	CD	25	#バイト3	F2

追加情報

キー	印刷キーの定義	キーコード				繰り返し
		バイト1	バイト2	バイト3	バイト4	
		カスタマー 0	カスタマー 1	データ 0	データ 1	
レーザー *	レーザー	該当なし				
ソース	ソース	32	CD	18	#バイト3	F2
戻る	F3/戻る	32	CD	66	#バイト3	F2
再同期	再同期	32	CD	04	#バイト3	F2
音量	音量 +	32	CD	09	#バイト3	F2
	音量 -	32	CD	0C	#バイト3	F2
Dズーム	Dズーム +	32	CD	08	#バイト3	F2
	Dズーム -	32	CD	0B	#バイト3	F2
メニュー	メニュー	32	CD	88	#バイト3	F2
フォーマット	フォーマット	32	CD	15	#バイト3	F2
フリーズ	フリーズ	32	CD	06	#バイト3	F2
リモート	ID	3201~3299		該当なし		
	全部	32CD		該当なし		
1 / VGA	1/VGA	32	CD	8E	#バイト3	F2
2 / S-Video	2/S-Video	32	CD	1D	#バイト3	F2
3 / HDMI1	3/HDMI1	32	CD	16	#バイト3	F2
HDMI2	HDMI2	32	CD	9B	#バイト3	F2
4 / HDBaseT	4/HDBaseT	32	CD	70	#バイト3	F2
5 / Video	5/Video	32	CD	1C	#バイト3	F2
6 / DVI	6/DVI	32	CD	19	#バイト3	F2
HDMI3	HDMI3	32	CD	98	#バイト3	F2
7 / BNC	7/BNC	32	CD	1A	#バイト3	F2
8 / YPbPr	8/YPbPr	32	CD	17	#バイト3	F2
9/DisplayPort	9/DisplayPort	32	CD	9F	#バイト3	F2
0 / 3D	0/3D	32	CD	89	#バイト3	F2

追加情報

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

❓ スクリーンに画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 端子のピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- 「ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。

❓ 画像のピントが合っていない

- 画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。
(20 ページを参照してください。)
- 投影画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。
(76 ページを参照してください。)

❓ 16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクタはプロジェクタ側で16:9フォーマットで最高の画像を表示します。
- 垂直ストレッチフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタのOSDで垂直ストレッチとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

❓ 画像が大きすぎるか、小さすぎる

- ズームレバーを時計回りまたは反時計回りに回して、投影される画像のサイズを拡大または縮小します。
(20 ページを参照してください。)
- プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
- プロジェクターパネルの [メニュー] を押して、[ディスプレイ → アスペクト比] に進みます。別の設定を試してみます。

❓ 画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。

❓ 画像が反転する

- OSDから [設定 → 投射位置] を選択し、投射方向を調整します。

追加情報

その他の問題

- ❓ プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します
- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。
- ❓ レンズシフトノブが (画像を上下左右に移動するために) 反応しなくなった場合は、次の手順に従ってください:
- レンズシフトノブを押し込む力で時計回りまたは反時計回りに回します。これにより、保護メカニズムが解放され、再び機能できるようになります。(レンズシフトノブにはロック機能があり、破損を防止します。明らかな音を発して、すでに限界位置に到達していることをユーザーに知らせます。)

リモコンの問題

- ❓ リモコンが作動しない場合、次を確認してください
- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから $\pm 15^\circ$ 以上ずれていないことを確認します。
 - リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクタから 6 m (19.7 フィート) 以内に移動する。
 - 電池が正しくセットされていることを確認する。
 - 古くなった電池は、新しいものと交換します。

追加情報

警告インジケータ

警告インジケータ (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします:

- [レーザー] LED インジケータが赤く点灯し、[電源] インジケータが赤色に点滅している場合。
- [温度] LED インジケータが赤く点灯し、[電源] インジケータが赤色に点滅している場合。この状態は、プロジェクターが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクターのスイッチをオンにすることができます。
- [温度] LEDインジケータが赤く点滅し、[電源] インジケータが赤く点滅している場合。

プロジェクターから電源コードを抜き、30 秒後に再試行します。警告インジケータが点灯または点滅したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

LED 点灯メッセージ

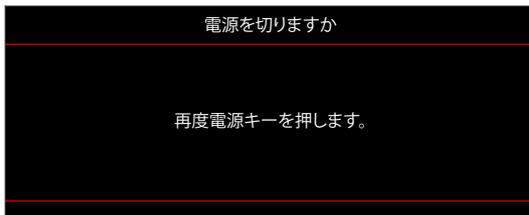
メッセージ	電源 LED		温度 LED	レーザー LED
	(赤色)	(青)	(赤色)	(赤色)
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点灯	-	-	-
電源オン (ウォーミング)	-	点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)	-	-
電源オン (レーザー点灯)	-	点灯	-	-
電源オフ (冷却中)	-	点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン) 。冷却ファンがオフになると、赤色の点灯に戻ります。	-	-
エラー (レーザーに問題あり)	点滅	-	-	点灯
エラー (ファン障害)	点滅	-	点滅	-
エラー (過熱)	点滅	-	点灯	-
スタンバイ状態 (バーンインモード)	-	点滅	-	-
バーンイン (警告) (*)	-	点滅	-	-
バーンイン (冷却中) (*)	-	点滅	-	-
バーンイン (レーザー照明) (*)	-	点滅 (3 秒オン/1 秒オフ)	-	-
バーンイン (レーザーオフ) (*)	-	点滅 (1 秒オン/3 秒オフ)	-	-

注:

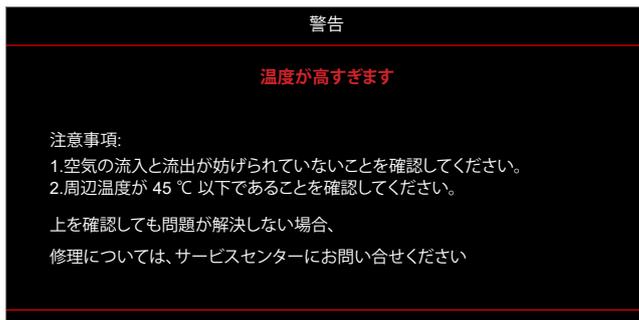
- (*) 電源が 0.5W 未満で、電源 LED が赤色の場合、電源 LED は赤色点滅に変わります。
 - a) OSD メニューが消えると、すべての LED がオフになります。
 - b) 電源LEDオン: 信号なし。OSD が消えます。
 - c) 電源LEDオフ: 信号が検出されました。OSD が消えます。

追加情報

- 電源オフ:



- 温度警告:



ADDITIONAL INFORMATION

Android Multimedia Spec.- Video & Audio & Photo

Video Codec	Resolution	Bit Rate	Container
VP9	4096x2176@60fps	100Mbps	MKV (.mkv)
			WebM (.webm)
			MP4(.mp4)
HEVC/H.265	4096x2176@60fps	100Mbps	MP4 (.mp4, .mov)
			MPEG transport stream (.ts, .trp, .tp)
			MKV (.mkv)
MPEG1/2	1920x1080@60fps	80Mbps	MPEG program stream (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG)
			MPEG transport stream (.ts, .trp, .tp)
			MP4 (.mp4)
			AVI (.avi)
MPEG4	1920x1080@60fps	40Mbps	MP4 (.mp4, .mov)
			3GPP (.3gp)
			AVI (.avi)
			MKV (.mkv)
H.263	1920x1080@60fps	40Mbps	MP4 (.mp4, .mov)
			3GPP (.3gpp, .3gp)
			AVI (.avi)
			MKV (.mkv)
H.264	4096x2160@60fps	135Mbps	FLV (.flv)
			MP4 (.mp4, .mov)
			3GPP (.3gp)
			MPEG transport stream (.ts, .trp, .tp)
			ASF (.asf)
			WMV (.wmv)
			AVI (.avi)
			MKV (.mkv)
VC1	2048x1024@60fps	40Mbps	MPEG transport stream (.ts, .trp, .tp)
			ASF (.asf)
			WMV (.wmv)
			AVI (.avi)
			MKV (.mkv)
Motion JPEG	1920x1080@30fps	40Mbps	AVI (.avi)
			MP4 (.mp4, .mov)
			MKV (.mkv)
VP8	1920x1080@60fps	50Mbps	MKV (.mkv)
			WebM (.webm)
AV1	4096x2176@60fps	100Mbps	MP4 (.mp4, .mov)
			3GPP (.3gpp, .3gp)
			MKV (.mkv)

Audio Codec	Sample rate	Channel	Container
MPEG1/2 Layer1	16KHz ~ 48KHz (32Kbps ~ 448Kbps)	Up to 2	MP3 (.mp3)
			AVI (.avi)
			ASF (.asf)
			Matroska (.mkv, .mka)
			MP4 (.mp4, .mov, m4a)
			MPEG transport stream(.ts, .trp, .tp)
			MPEG program stream(.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG)
MPEG1/2 Layer2	16KHz ~ 48KHz (8Kbps~384Kbps)	Up to 2	WAV (.wav)
			AVI (.avi)
			Matroska (.mkv, .mka)
			MP4 (.mp4, .mov, m4a)
			MPEG transport stream(.ts, .trp, .tp)
			MPEG program stream(.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG)
MPEG1/2/2.5 Layer3	8KHz ~ 48KHz (8Kbps~320Kbps)	Up to 2	WAV (.wav)
			MP3 (.mp3)
			AVI (.avi)
			ASF (.asf)
			Matroska (.mkv, .mka)
			3GPP (.3gpp, .3gp)
			MP4 (.mp4, .mov, m4a)
			MPEG transport stream(.ts, .trp, .tp)
			MPEG program stream(.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG)
			FLV (.flv)
AC3(DD) (Dolby Digital)	32KHz, 44.1KHz,48KHz (32Kbps~640Kbps)	Up to 5.1	WAV (.wav)
			AC3 (.ac3)
			AVI (.avi)
			Matroska (.mkv, .mka)
			MP4 (.mp4, .mov, m4a)
EAC3(DDP) (Dolby Digital Plus)	32KHz, 44.1KHz,48KHz (32Kbps~6Mbps)	Up to 5.1	MPEG transport stream (.ts, .trp, .tp)
			MPEG program stream (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG)
			EAC3 (.ec3)
			3GPP (.3gpp, .3gp)
			MP4 (.mp4, .mov, m4a)
AAC-LC, HEAAC	8KHz ~ 48KHz AAC-LC:12kbps~ V1 : 6kbps~288kbps V2 : 3kbps~144kbps	Up to 5.1	MPEG transport stream (.ts, .trp, .tp)
			MPEG program stream (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG)
			FLV (.flv)
			RM (.rm, .rmvb, .ra) WAV (.wav)
			MP4 (.m4a)
			MP4 (.mp4)
			3GPP (.3gpp, .3gp)
			Matroska (.mkv, .mka)
			AVI (.avi)
			AAC (.aac)
VORBIS	Up to 48KHz	Up to 2	Matroska (.mkv, .mka)
			WebM (.webm)
			Ogg (.ogg)
DTS	Up to 48KHz (< 1.5Mbps) (Pure DTS core)	Up to 5.1	Matroska (.mkv, .mka)
			WAV (.wav)
			MPEG program stream (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG)
			MPEG transport stream (.ts, .trp, .tp)
DTS Master Audio	Up to 48KHz (Up to 24.537Mbps)	Up to 6	MP4 (.mp4, .mov)
			MPEG transport stream (.ts, .trp, .tp, .mts)
LPCM	8KHz ~ 48KHz (64kbps ~ 1.5Mbps)	Mono,Stereo, 5.1	WAV (.wav)
			AVI (.avi)
			Matroska (.mkv, .mka)
			3GPP (.3gpp, .3gp)
			MP4 (.mp4, .mov, m4a)
IMA-ADPCM MS-ADPCM	8KHz ~ 48KHz (32kbps~384kbps)	Up to 2	MPEG program stream(.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG)
			WAV (.wav)
G711 A/mu-law	8KHz (64kbps)	1	AVI (.avi)
			WAV (.wav)
			Matroska (.mkv, .mka)
			3GPP (.3gpp, .3gp)
PHOTO	Base-line (1920x 1080) Progressive (1024 x 768) non-interlace (1920 x 1080) interlace (1920 x 1080) 15360 X 8640	JPEG	.jpg, .jpeg
			PNG
		BMP	

Photo Codec	Resolution	Format	Container
PHOTO	Base-line (1920x 1080)	JPEG	.jpg, .jpeg
	Progressive (1024 x 768)		
	non-interlace (1920 x 1080)	PNG	.png
	interlace (1920 x 1080)		
15360 X 8640	BMP	.bmp	

追加情報

仕様

項目	説明
最大解像度	<ul style="list-style-type: none">HDMI (2.1): 3840x2160@120HzHDMI ポートは最大 3840*2160/120Hz (FRL) です
レンズ	<ul style="list-style-type: none">スロー比: 1.2 ~ 1.92F-停止: 2.3 ~ 2.8焦点距離: 17.3 ~ 27.88mmズーム範囲: 1.6X
オフセット	126%±5%
画像サイズ	30.6 インチ~301.1 インチ (82 インチで最適化')
投影距離	1000mm@30.6 インチ~10000mm@301.1 インチ
I/O	<ul style="list-style-type: none">HDMI 2.0 x2HDMI 2.1 x1USB Type-A x3<ul style="list-style-type: none">- 1 (電源 USB 5V/1.5A および DLPC7541 FW アップグレード用)- 2 (電源 USB 5V/0.9A およびマルチメディア、Wi-Fi ドングル、Android TV プロセッサ FW アップグレード用)RJ45 x1S/PDIF x1 (PCM、Dolby Digital をサポート)3D 同期 x1 (3D 同期信号出力、ミニ Din 3 ピン コネクタ)12V トリガ x2 (DC 出力3.5mm ジャック、メス、最大 12V/0.5A)オーディオ出力 x1 (3.5mm ジャック、メス、黒)RS232 x1 (オス (9ピン D-sub) タイプ)
色	10 億 7340 万色
スキャン速度	<ul style="list-style-type: none">水平スキャン速度: 15 ~ 255 KHz垂直スキャン速度: 24 ~ 240Hz (1080P の場合 240Hz)
スピーカー	5W x2
消費電力	<ul style="list-style-type: none">最小 (エコモード):<ul style="list-style-type: none">- 165W (標準)、190W (最大) @ 110VAC- 160W (標準)、184W (最大) @ 220VAC最大 (高輝度モード):<ul style="list-style-type: none">- 300W (標準)、345W (最大) @ 110VAC- 295W (標準)、339W (最大) @ 220VAC
入力電流	3.7A
取り付け方向	フロント、リア、天井、リア - 上部
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	<ul style="list-style-type: none">足を除く: 498.1 x 331.1 x 154 mm (19.4 x 13.1 x 6.1 インチ)足を含む: 498.1 x 331.1 x 171 mm (19.4 x 13.1 x 6.7 インチ)
重さ	8.9 kg±0.3 kg
環境	0 ~ 40℃、10% ~ 80% 湿度 (結露なし) で動作

注: 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

追加情報

Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

米国

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-996-4794
 services@optoma.com

カナダ

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-996-4794
 services@optoma.com

中南米およびメキシコ

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-996-4794
 services@optoma.com

ヨーロッパ

1 Bourne End Mills
Hemel Hempstead
Hertfordshire
HP1 2UJ
英国

 +44 (0) 1923 691 800
 +44 (0) 1923 691 888
 service@tsc-europe.com

www.optoma.eu

サービスダイヤル: +44 (0)1923 691865

Benelux BV

Optoma Benelux BV
Europalaan 770 D
1363BM Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

 +31 (0) 36 8200 250
 +31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

 +33 1 41 46 12 20
 +33 1 41 46 94 35
 savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro, 36 Of.1C 28529 Rivas
Vaciamadrid, Spain

 +34 91 499 06 06
 +34 91 670 08 32

ドイツ

Optoma Deutschland GmbH
Am Nordpark 3
41069 Mönchengladbach
Deutschland

 +49 (0) 2161 68643 0
 +49 (0) 2161 68643 99
 info@optoma.de

スキャンディナヴィア

Postboks 9515 Åskollen
Kniveveien 29
Drammen
3036
Norway

 +47 32 98 89 90
 +47 32 98 89 99
 info@optoma.no

韓国

<https://www.optoma.com/kr/>

日本

<https://www.optoma.com/jp/>

台湾

<https://www.optoma.com/tw/>

中国

Room 2001, 20F, Building 4,
No.1398 Kaixuan Road,
Changning District
Shanghai, 200052, China

 +86-21-62947376
 +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

オーストラリア

<https://www.optoma.com/au/>

